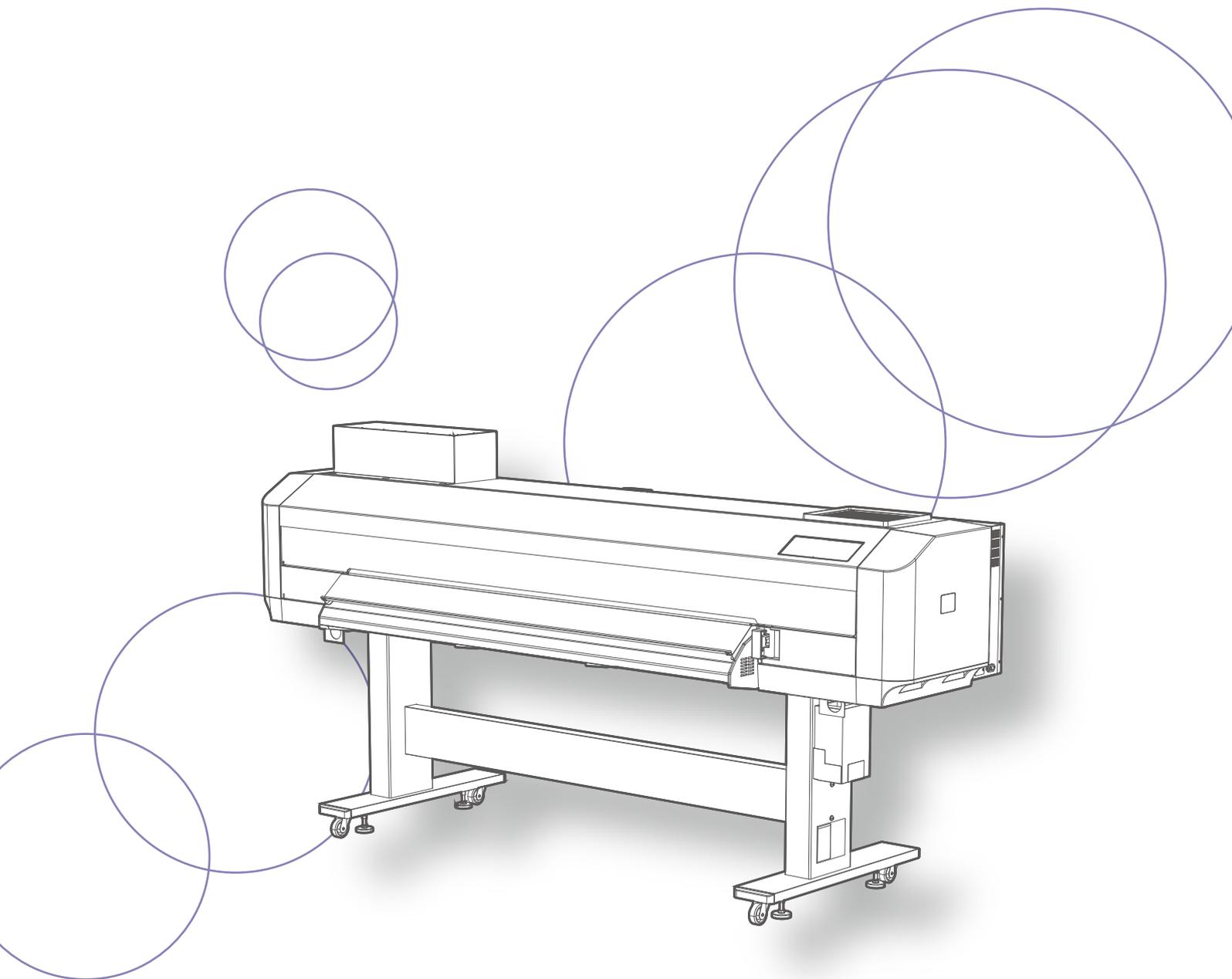


MUTOH

XPJ-1682UR

スタートアップガイド

開梱と初期設定



大切なお知らせ

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

受信障害について

本製品は弱い電波を出すので正しく設置・使用されていない場合には、ラジオやテレビの受信障害の原因となることがあります。

もし本製品がラジオ・テレビ受信の障害原因と思われましたら、次の方法を組み合わせて防止してください。

- 受信アンテナやフィーダーの方向を変えてみる
 - 本製品の使用方向を変えてみる
 - 受信機と本製品の距離を変えてみる
 - 本製品と受信機とは別系統の電源ラインを使用してみる
-

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

VerteLith は武藤工業株式会社の日本ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

- 本書の内容の全部または一部を、無断で複写・複製することを禁止します。
- 本書の内容につきましては万全を期していますが、万一ご不明の点や、誤り、お気づきの点がございましたら、弊社またはお買い求めの販売店にご連絡ください。
- 本書に記載された取扱方法以外の手順によって生じた故障、事故などにつきましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

安全にお使いいただくために	5
マーク表示について	5
感電・ショート・火災について.....	6
設置について.....	7
取り扱いについて.....	8
インクと廃液について.....	9
警告ラベル.....	10
操作ラベル.....	12
設置前の確認	14
設置上のご注意	14
最小設置スペース	14
電源仕様.....	15
環境条件.....	16
開梱	17
開梱準備.....	17
プリンターの開梱.....	18
専用スタンドの開梱.....	20
組み立て	21
スタンドの組み立て.....	21
プリンターの取り付け.....	23
廃液タンクの取り付け.....	25
保護材の取り外し.....	27

目次

カラーラベルの貼り付け	30
-------------------	----

ケーブルの接続 **31**

電源コードとイーサネットケーブルの接続	31
---------------------------	----

セットアップ **33**

セットアップの流れ.....	33
プリンターコントロールパネルの使い方.....	33
初期設定.....	34
アクティベーション.....	35
初期洗浄～初期充電.....	37

テスト印刷 **43**

メディアをセットする	43
ノズルチェックとクリーニング.....	53

MUTOH Status Monitor のインストール **55**

MSM のインストール方法	55
---------------------	----

スリープモード **56**

お問い合わせ先 **58**

安全にお使いいただくために

マーク表示について

■指示を無視したり誤った取り扱い方で生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	回避しないと死亡または重傷を招く可能性がある危険な状況の場合に使用します。
 注意	回避しないと軽症または中程度の損害を招く可能性がある危険な状況の場合、または製品の全部または一部が損傷する場合に使用します。

■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分して説明しています。

	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この表示は、かならず実行していただく「強制」内容です。

■その他のマーク表示

 Important!	とくに注意したり、お守りいただきたい内容を示しています。
 Note	補足説明や参考情報を示しています。
	関連した内容の参照先を示しています。

Note

安全表示中の本体の各部名称については、取扱説明書の「各部の名称」をご覧ください。

設置前の確認

開梱

組み立て

ケーブルの接続

セットアップ

テスト印刷

MSMの
インストール

スリープモード

感電・ショート・火災について

警告

	<p>湿気やホコリの多い場所に設置しないでください。 感電・火災のおそれがあります。</p>		<p>必ず指定の電源コンセントを使用してください。 指定外の電源コンセントを使うと、感電・火災の原因となります。</p>
	<p>破損した電源コードを使用しないでください。 感電・火災の原因になります。</p>		<p>電源コンセントから直接電源を取ってください。 タコ足配線はしないでください。発熱し、火災の原因となります。</p>
	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となります。</p>		<p>電源は必ずアース端子付きの専用コンセントを使用し、アース線に接続してください。 アース線を接続しないと、感電・火災の原因となります。</p>
	<p>以下の場所には、アース線を接続しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガス管 引火や爆発するおそれがあります。 ・電話線用アース線および避雷針 落雷時に大量の電流が流れる可能性があります。 ・水道管および蛇口 T配管の途中がプラスチック製になっている場合は、アースの役目を果たしません。 		<p>アース線は、必ず以下の規格を満たすアース線に接続してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源コンセントのアース端子 ・銅片を深さ 650 mm 以上の地中に埋めたアース線 ・D種接地工事を行っている接地端子
	<p>必ず指定の電源コードを使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定品以外の電源コードを使用すると、感電・火災の原因となります。指定の電源コードについては、販売店までお問い合わせください。 ・電源コードは保護接地端子を備えたものとし、確実にコンセントに接続してください。 ・電源コードは使用する国の安全規格、電源 電圧、プラグ形状に適合したものを使用してください。 		
	<p>通風孔などの開口部から製品内部に、金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災の原因となります。</p>		<p>毛布やテーブルクロスのような布を本製品にかけ、通風孔をふさがないでください。 通風孔をふさぐと本製品内部に熱がこもり、火災のおそれがあります。</p>
	<p>ネジで固定してあるカバー類は、絶対に開けないでください。 感電または故障するおそれがあります。</p>		<p>各種コード（ケーブル）は、本書で指示されているとおりに配線してください。 配線を誤ると、火災のおそれがあります。</p>
	<p>本製品内部に水気が入らないように注意してください。 電気回路がショートするおそれがあります。</p>		<p>異物や水などの液体が製品内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。 感電・火災の原因となります。すぐに電源ボタンをオフし、電源プラグをコンセントから抜いて、カスタマーサポートまでご連絡ください。</p>

設置前の確認

開梱

組み立て

ケーブルの接続

セットアップ

テスト印刷

M5Mのインストール

スリープモード

	<p>電源コードを取り扱う場合は、以下の点に注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源コードを加工しないこと。 電源コードの上に重いものを載せないこと。 電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないこと。 電源コードを熱器具の近くに配線しないこと。 		<p>電源プラグを取り扱う場合は、以下の事項に注意してください。</p> <p>取り扱いを誤ると火災の原因となるおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。
---	---	---	--

設置前の確認

開梱

組み立て

ケーブルの接続

セットアップ

テスト印刷

MSMの
インストール

スリープモード

設置について

警告

	<p>本製品は、以下のような場所に設置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 水平な場所 他の機器の振動が伝わらない場所 湿気やホコリの少ない場所 温度・湿度の変化が小さい場所 直射日光が当たらない場所 水などがかからない場所 風（冷暖房器具含む）が直接当たらない場所 電磁波などのノイズが少ない場所 		<p>換気ができる場所に設置してください。</p> <p>作業場を十分換気してください。</p> <p>インクの臭気により健康に悪影響をおよぼす可能性があります。</p> <p>頭痛・だるさ・めまいなどを感じた場合は作業を中断し、空気の新鮮な場所にて休息してください。吐き気などが続くときは医師の診察を受けてください。</p>
			<p>この機器は子供がいる可能性がある場所での使用には適していません。</p>
	<p>本製品を梱装箱から取り出すときは、かならずビニールを外してください。</p> <p>ビニールを付けたまま持ち上げると、手を滑らせて落下、破損させる恐れがあります。</p>		

注意

	<p>プリンターに搭載されているLED-UV ランプ以外に、作業エリア内に直射日光や人工光などでUV光が発生する場合があります。そのような場合、意図しないインクの硬化によって、（インク詰まり・メンテナンスユニットの機能障害・ヘッド破損など）プリンターが故障するおそれがあります。以下のガイドラインを守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 直射日光のあたる場所に本製品を設置しないでください。 待機時は、必ずフロントカバーを閉めてください。 カバーを取り外さないでください。本製品を改造しないでください。 本製品を改造・分解すると、保証の対象外になります。 		
	<p>本製品を移動する場合は、必ず3人以上で作業してください。また、水平の状態を保ったまま移動してください。</p>		<p>本製品を傾けたりしないでください。</p> <p>内部のインクが漏れるおそれがあります。また、正常動作が保証できません。</p>

取り扱いについて

警告

	本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。 転倒・転落により、けがをするおそれがあります。		可動部に触れないでください。 負傷や製品の故障の原因になります。
	本製品にインクを充填後は、インクが漏れるおそれがあるため、衝撃を与えないようにゆっくり動かしてください。		

注意

	UV LED 装置から少量の紫外線（青白い光）の漏れがありますが、安全なレベルに抑えられています。本製品を取り扱う場合は以下の点に注意してください。 <ul style="list-style-type: none"> 紫外線を至近距離で長時間見つめないでください。眼障害の原因になります。 紫外線を至近距離で長時間皮膚にあてないでください。炎症をおこす原因になります。 		
    	清掃時は、以下を守ってください。 <ul style="list-style-type: none"> 必ず保護具（手袋、ゴーグルまたはゴーグル、保護衣、マスク）を着用のうえ、作業を行ってください。 清掃作業は、必ず指示された手順通り行ってください。 必ず未使用のクリーンスティックを使用して、専用メンテナンス液に浸してから、作業を行ってください。 専用メンテナンス液以外を使用すると、プリントヘッドが目詰まりする原因となります。 クリーンスティックの先端を指でさわらないでください。 皮脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。 クリーンスティックは再利用しないでください。 付着したホコリ等により、プリントヘッドが破損するおそれがあります。 		
	プリントヘッド外周を清掃するときは、プリントヘッドのノズル面には絶対に触れないでください。 プリントヘッドが破損するおそれがあります。		クリーニングワイパーを清掃するときは、クリーニングワイパーおよびヘッドキャップユニットには手を触れないでください。 油脂が付着してヘッドクリーニングが正常に行えなくなるおそれがあります。
	本製品を移動するときは、短い距離であっても廃液タンクを空にしてください。 故障の原因となります。		シンナー、ベンジン、アルコール等の揮発性薬品は使用しないでください。 塗装を傷める原因となります。
	フロントカバーおよびメンテナンスカバーの取扱いは以下を守ってください。 <ul style="list-style-type: none"> カバーに送風機、空調設備などの強い風が当たる場所に設置しないでください。 突然閉まるおそれがあります。 カバーを開けるときは、周囲の安全を十分に確認してください。 周囲の物や人にぶつかるおそれがあります。 		
 	印刷物に触れる前に、インクが確実に硬化しているか確認してください。硬化しているかわからない場合は、直接皮膚や衣類が触れないよう、必ず手袋を着用してください。		インク充てん中に、以下の動作を行わないでください。 <ul style="list-style-type: none"> 本製品の電源をオフにする 本製品の電源コードを抜く フロントカバーやメンテナンスカバーを開ける プリンターを移動する

設置前の確認

開梱

組み立て

ケーブルの接続

セットアップ

テスト印刷

M5Mのインストール

スリープモード

インクと廃液について

警告

	UV 硬化インク、廃液を使用する、または取り扱う際の安全注意事項については、安全データシート (SDS) に詳しく記載されています。これらの液体を取り扱う際は、SDS をよくお読みください。 最新の SDS は、弊社ホームページ (https://www.mutoh.co.jp/) からダウンロードしてください。
	インクパックおよび廃液は、以下のような場所に保管してください。 ・ 子供の手の届かない場所 ・ 火気や高温から遠ざけ、直射日光を避けた冷暗所
    	インクを取り扱うときは、必ず保護具 (手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護衣、マスク) を着用してください。 ・ 硬化前のインクに素手で触れないようにしてください。 UV インクは、メディアの表面特性により、硬化するまでの時間が異なる場合があります。特に、印字率の低い印刷は、放置が必要な場合があります (目安として 1 時間)。UV インクが硬化しているか確認するときは、必ず保護手袋を着用してください。 ・ 特にインクの付着するおそれがある作業を行う場合 (例: インクおよび廃液の取り扱い、プリントヘッド・キャップ・ワイパのクリーニング)、必ず付属品の手袋もしくは耐溶剤性の手袋、ゴーグル等の保護具を着用し、インクが付着しないよう注意してください。 ・ 2 種類の保護手袋がプリンターに同梱されています。インクが浸透する可能性があるため、ポリエチレン手袋 (ピンク) の上にゴム手袋 (白) を重ねてください。もしもその手袋が利用できない場合は、ブチルゴム製の手袋を着用してください。 ・ 手袋にインクが付着した場合は新しい手袋に取り換えてください。 ・ 皮膚に付着した場合は直ちに石鹸と多量の水で 15 分間洗浄し、万一刺激が続いたり炎症がある場合は医師の診断 / 手当を受けてください。 ・ 眼に入った場合は多量の水で 15 分間洗浄し、速やかに医師の診断 / 手当を受けてください。 ・ 飲み込んだ場合は直ちに口をすすぎ、無理に吐かせないようにし、医師の診断 / 手当を受けてください。
	・ インクや、本製品から出る廃液、インクなどが付着した容器や紙タオルなどを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。 ・ 本製品から出る廃液が、生活排水や自然水系へ流出しないようにしてください。 ・ 廃液は HDPE 製かつ、遮光性がある容器で保管してください。 ・ 廃液を長期保管をする場合は、完全密封状態とせず容器に通気口を設けてください。 ・ 廃液は少量であっても、他の物質、液体と混合しないでください。 他の物質 (酸化剤など) と混合すると、発熱の原因となります。

注意

	インクパックの取扱いは以下を守ってください。 ・ 分解しない ・ 落としたり強くだいたりしない 分解したり衝撃を与えるとインクが漏れるおそれがあります。		専用インク以外を使用した場合は故障の原因になる可能性があります。このような故障の際の修理は、お客様の負担となりますことをご了承ください。
	インクは使用期限内に使い切ってください。 ・ 消費期限の切れたインクの使用は本製品の破損を引き起こす恐れがあります。 ・ 使用中に消費期限が切れた場合は、インクが残っていても消費期限内のインクに交換してください。 ・ 使用期限切れのインクは産業廃棄物として処理し、空になったインクパックはビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。		
	インクは純正品を使用してください。 本製品は MUTOH 純正品のインクを使用することで性能を十分に発揮できるよう設計されています。非純正インクをご使用になりますと、製品本体や印刷品質に悪影響がでる場合があります。この場合には保証の対象外となります。		

設置前の確認

開梱

組み立て

ケーブルの接続

セットアップ

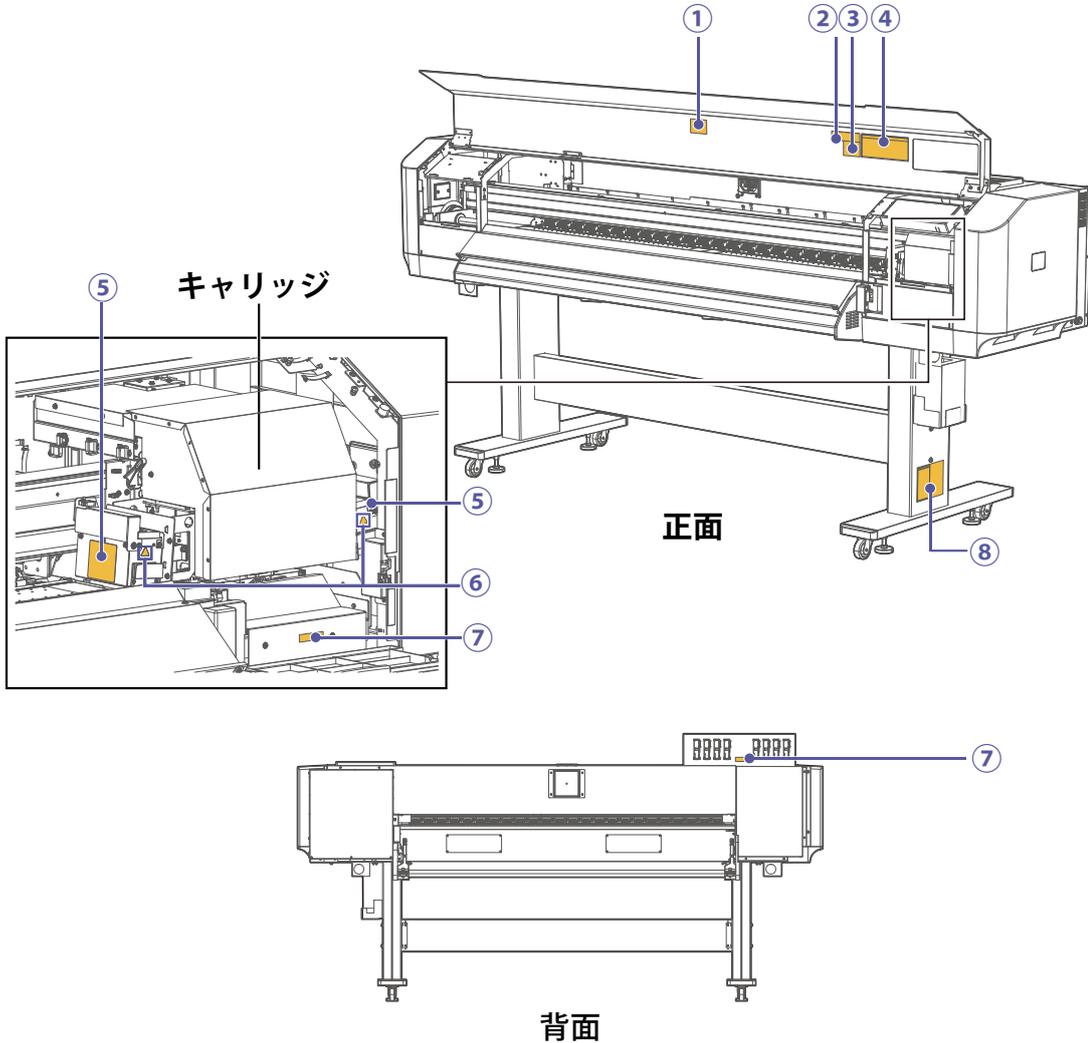
テスト印刷

MSM の
インストール

スリープモード

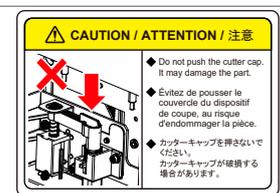
警告ラベル

本製品の危険箇所には、警告ラベルを貼っています。ラベルの内容を理解し、必ずお守りください。ラベルが剥がれたり汚れたりした場合は、交換のため販売店にご連絡ください。



ラベル種類

名称 / 意味

<p>①</p> 	<p>スチールベルトコーション</p> <ul style="list-style-type: none"> この部分に触れないでください。けがをするおそれがあります。
<p>②</p> 	<p>カッターコーション</p> <ul style="list-style-type: none"> カッター付近に指を置かないでください。カッター刃でけがをするおそれがあります。
<p>③</p> 	<p>カッターキャップコーション</p> <ul style="list-style-type: none"> カッターキャップを押さないでください。カッターキャップが破損するおそれがあります。

設置前の確認

開梱

組み立て

ケーブルの接続

セットアップ

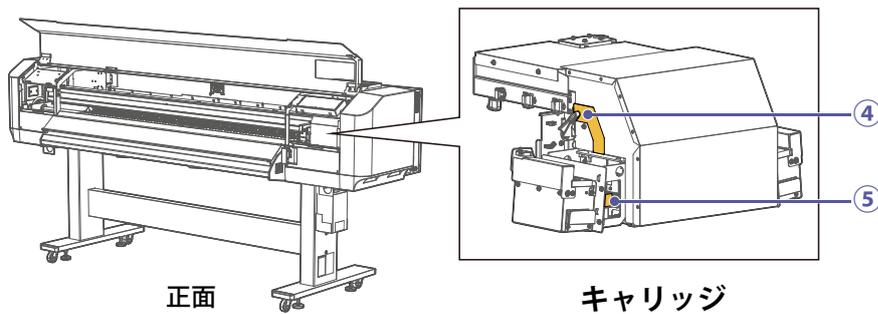
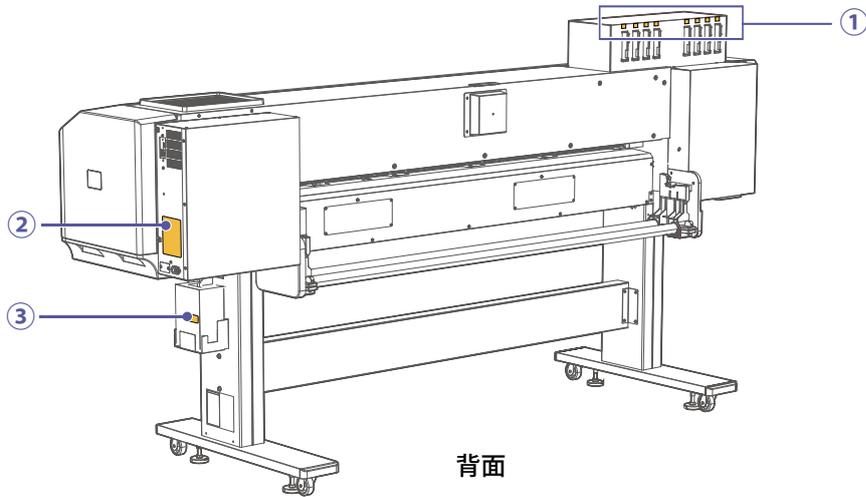
テスト印刷

MSMのインストール

スリープモード

操作ラベル

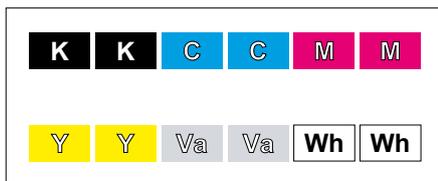
本製品の操作で注意が必要な箇所には、操作説明ラベルを貼っています。ラベルの内容は次のとおりです。



ラベル種類

名称 / 意味

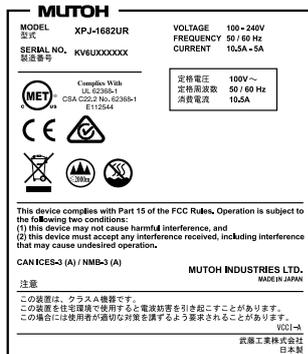
①



カラーラベル

- 製品のご使用の前に、インク設定に合わせてインクスロットの上部に貼り付けてください。
 ☞ 「カラーラベルの貼り付け」 P.30
- ラベルに対応するインクカートリッジ（インクパック）をセットしてください。

②



定格銘板

- 型式・製造番号・電気定格・認証・届出情報が記載されています。

設置前の確認

開梱

組み立て

ケーブルの接続

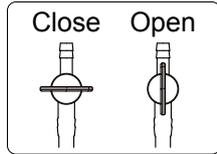
セットアップ

テスト印刷

MSMのインストール

スリープモード

③



廃液バルブコーション

- ・ 廃液バルブの開閉位置を示しています。

④



PG ラベル

- ・ プリントヘッドの高さを調整します。

⑤



ORIGIN ラベル

- ・ 原点位置を示しています。

設置前の確認

開梱

組み立て

ケーブルの接続

セットアップ

テスト印刷

MSMの
インストール

スリープモード

設置前の確認

設置上のご注意

本製品は、以下のような場所に設置してください。

- 水平な場所
- 他の機器の振動が伝わらない場所
- 湿気やホコリの少ない場所
- 温度・湿度の変化が小さい場所
- 直射日光が当たらない場所
- 水などがかからない場所
- 風（冷暖房器具含む）が直接当たらない場所
- 電磁波などのノイズが少ない場所

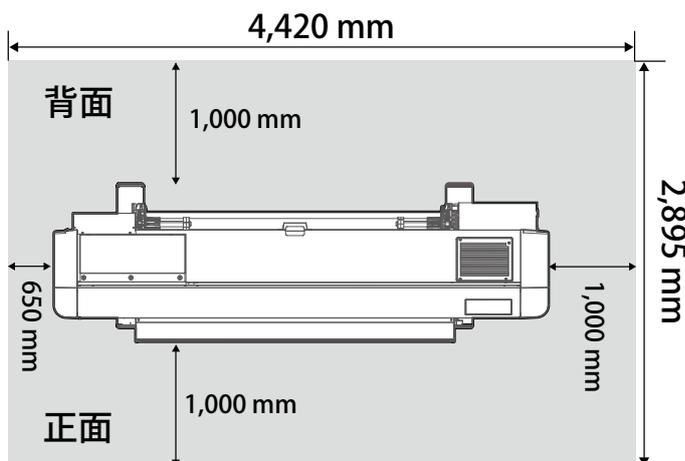


注意

- 必ず本製品の重量に耐えられる場所に設置してください。
本製品の重量は、スタンドを含めて、181kg になります。設置に適していない場所に設置すると、転倒・転落により、けがをする恐れがあります。
- 作業場所は換気してください。
インクの臭気により健康に悪影響をおよぼす可能性があります。頭痛・だるさ・めまいなどを感じた場合は作業を中断し、空気の新鮮な場所にて休息してください。吐き気などが続くときは医師の診察を受けてください。
- この機器は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。

最小設置スペース

本製品を設置するときは、以下のスペースを確保してください。



本体サイズ

幅 x 奥行:	2,770 mm x 895 mm
高さ :	1,527 mm *1

- *1 フロントカバーオープン時
ただし設置スペースの高さは1,760 mm
以上確保すること

電源仕様

本製品は、以下の電源仕様を満たした場所に設置してください。

プリンター本体：

- 電圧：
AC 100V ~ 240V ± 10%
- 周波数：
50/60 Hz ± 1Hz
- 電流：
AC 100V ~ 120V: 10.5 A 以下
AC 200V ~ 240V: 5.0 A 以下



警告

- 電源タップを使用しないでください。

設置前の確認

開梱

組み立て

ケーブルの接続

セットアップ

テスト印刷

MSMの
インストール

スリープモード

環境条件

本製品は、以下の環境条件を満たした場所に設置してください。

- 本体動作環境：
温度：20℃～32℃
湿度：40%～60%、結露なきこと
- 本体精度保証環境：
温度：22℃～30℃
湿度：40%～60%、結露なきこと
- 変化率：
温度：1時間あたり2℃以内
湿度：1時間あたり5%以内
- 本体保存環境：
インク未充電保存：6か月以内
温度：-20℃～60℃
湿度：20%～80%、結露なきこと

インク充電保存：1か月以内 *1
温度：5℃～30℃
湿度：20%～80%、結露なきこと
*1 スリープモードによる常時通電、一週間ごとのインク残量確認とインクのかくはんを行うこと。
- インク保存環境：
 - US61 インク
ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、バーニッシュ、ホワイト
温度：5℃～30℃（屋内冷暗所に保管すること）
 - 洗浄液
温度：-20℃～40℃（40℃下1か月以内。熱源、可燃物から遠ざけ、換気良好な冷暗所に保管すること）

設置前の確認

開梱

組み立て

ケーブルの接続

セットアップ

テスト印刷

MSMのインストール

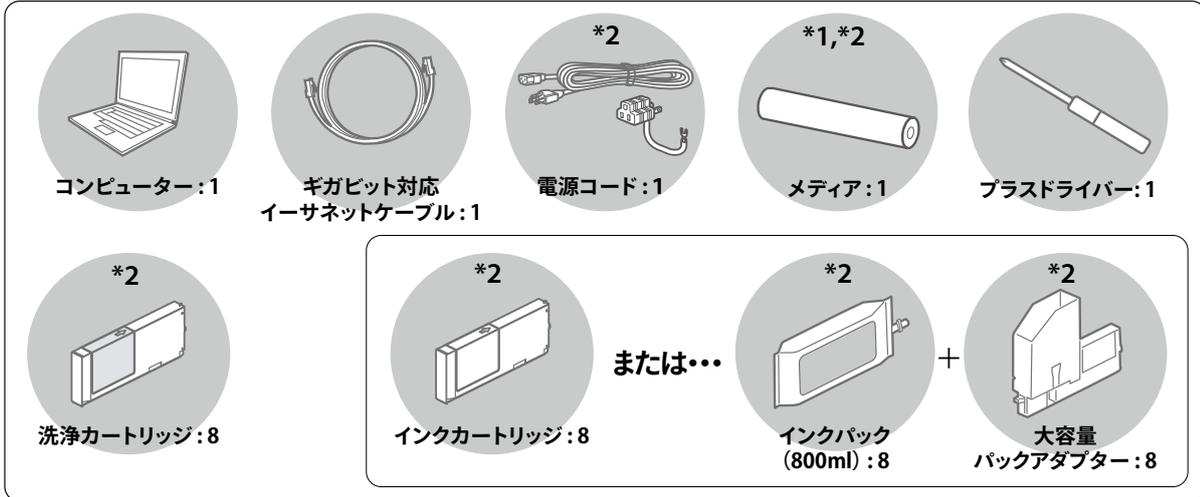
スリープモード

開梱

開梱準備

開梱を行うまえに、以下のことを確認してください。

- 本製品の開梱、組み立て、設置作業は、かならず4人以上で行ってください。
- 本製品の設置と初期設定には、同梱品以外に次のものがが必要です。



*1 メディアの使用可能サイズは以下の通りです。

- 2 インチまたは 3 インチ紙管
- 外径Φ 200 mm 以下
- 用紙幅 500 mm ~ 1,625mm
- 重量 30 kg 以下

*2 オプションまたはサプライ品です。



警告

かならず指定の電源コードを使用してください。
指定品以外の電源コードを使用すると、感電・火災の原因となります。

Important!

コンピューターは、以下の条件を満たすものをご使用ください。

- OS: Windows 11、Windows 10
- CPU: Intel (R) Core (TM) i5 以上
- メモリ: 8G バイト以上
- ネットワーク: ギガビットイーサネットに対応したネットワークポート、Category 6 以降のギガビット対応イーサネットケーブルを使用

Note

- 当社が提供するソフトウェアの各 OS に対するサポート期間は、マイクロソフトの各 OS のサポート期間に準拠します。
- RIP ソフトウェアをご使用の場合は、RIP ソフトウェアの使用条件もご確認ください。
- 大容量パックアダプターへのインクパックの取り付け方法は、大容量パックアダプターの取扱説明書をご覧ください。

設置前の確認

開梱

組み立て

ケーブルの接続

セットアップ

テスト印刷

MSM の
インストール

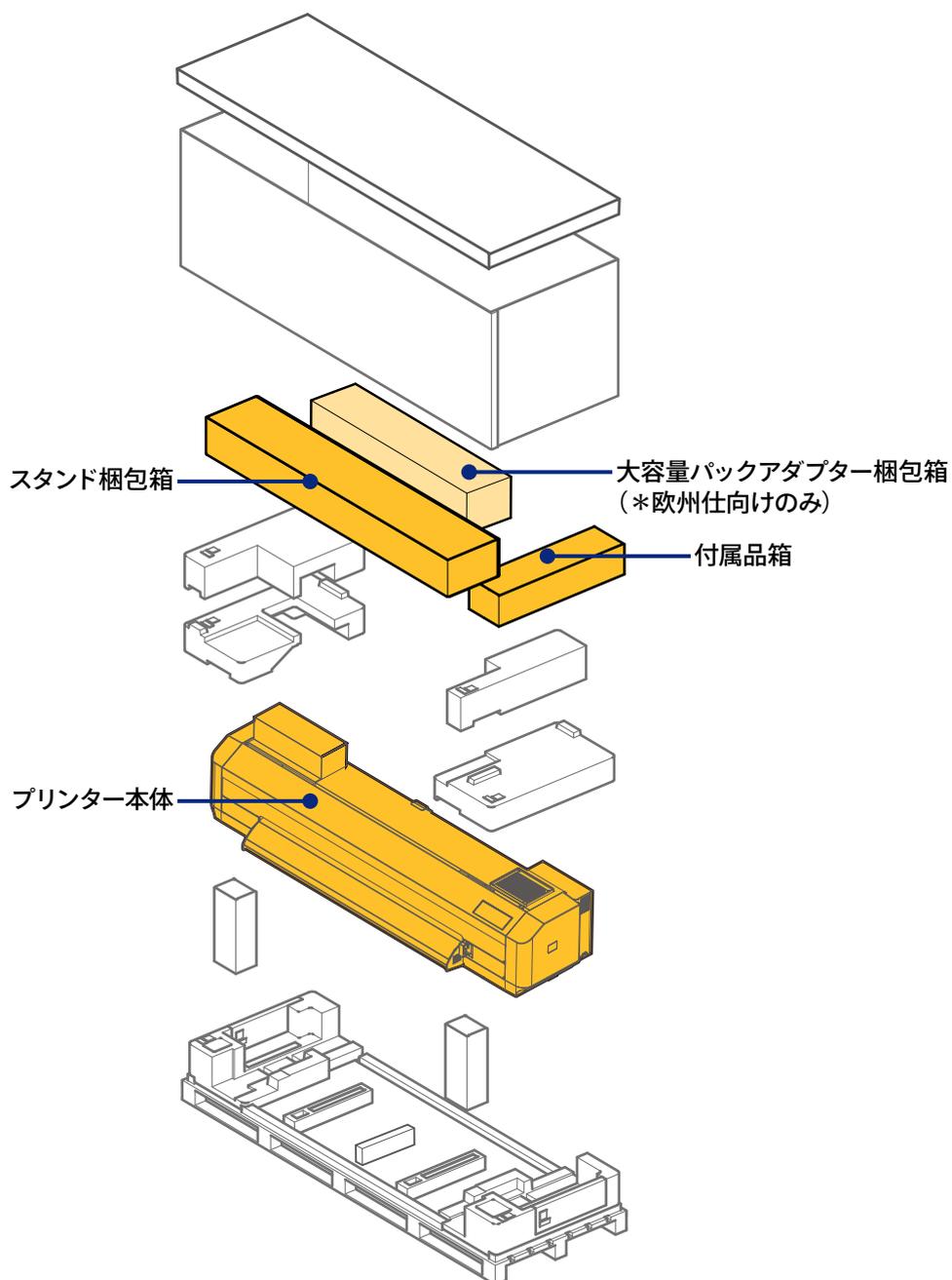
スリープモード

プリンターの開梱

⚠ 注意

- プリンターを開梱または移動する場合は、かならず4人以上で作業してください。
- 本製品を梱包箱から取り出すときは、かならずビニールを外してください。
ビニールを付けたまま持ち上げると、手を滑らせて落下、破損させる恐れがあります。
- プリンターは水平の状態を保ったまま移動してください。

1 梱包箱を開き、各部品を取り出します。



設置前の確認

開梱

組み立て

ケーブルの接続

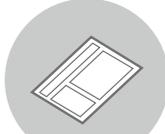
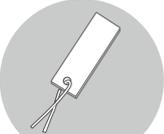
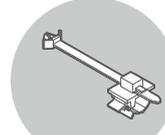
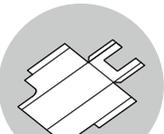
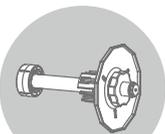
セットアップ

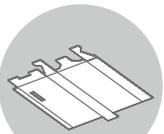
テスト印刷

MSMのインストール

スリープモード

2 付属品箱を開き、同梱品がすべてそろっているか確認します。

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 
□設置要領書
:日/英各1
「スタートアップガイド」(本書) | 
□ダウンロード案内シート
:日/英各1 | 
□デイリーメンテナンスシート
:日/英各1 | 
□専用インク注意シート
:日/英各1 | 
□製品取扱注意シート
:日/英各1 |
| 
□ペーパータオル:5 | 
□クリーンスティック:50 | 
□クリーニングファイバー:3 | 
□スクレイパー:2 | 
□スポイト(5 ml):2 |
| 
□ステンレスバット:1 | 
□リユースタイ:1 | 
□コードクランプ:1 | 
□ゴム手袋:100 | 
□ポリエチレン手袋:100 |
| 
□ゴーグル:1 | 
□プラスチックカップ
(100 ml):1 | 
□カラーラベル:1 | 
□フラッシングボックス吸収材:3 | 
□廃液タンク:1 |
| 
□廃液タンク
遮光カバー:1 | 
□廃液バルブケース:1 | 
□フランジ:2 | | |
- 大容量バックアダプター梱包箱 (欧州仕向けのみ)

 □大容量バックアダプター:8	 □インク遮光ケース:8	 □アダプタ封止治具:1	 □コネクタゴム:20	 □インクバックアダプター 取扱説明書:日/英各1
---	--	--	--	--

設置前の確認

開梱

組み立て

ケーブルの接続

セットアップ

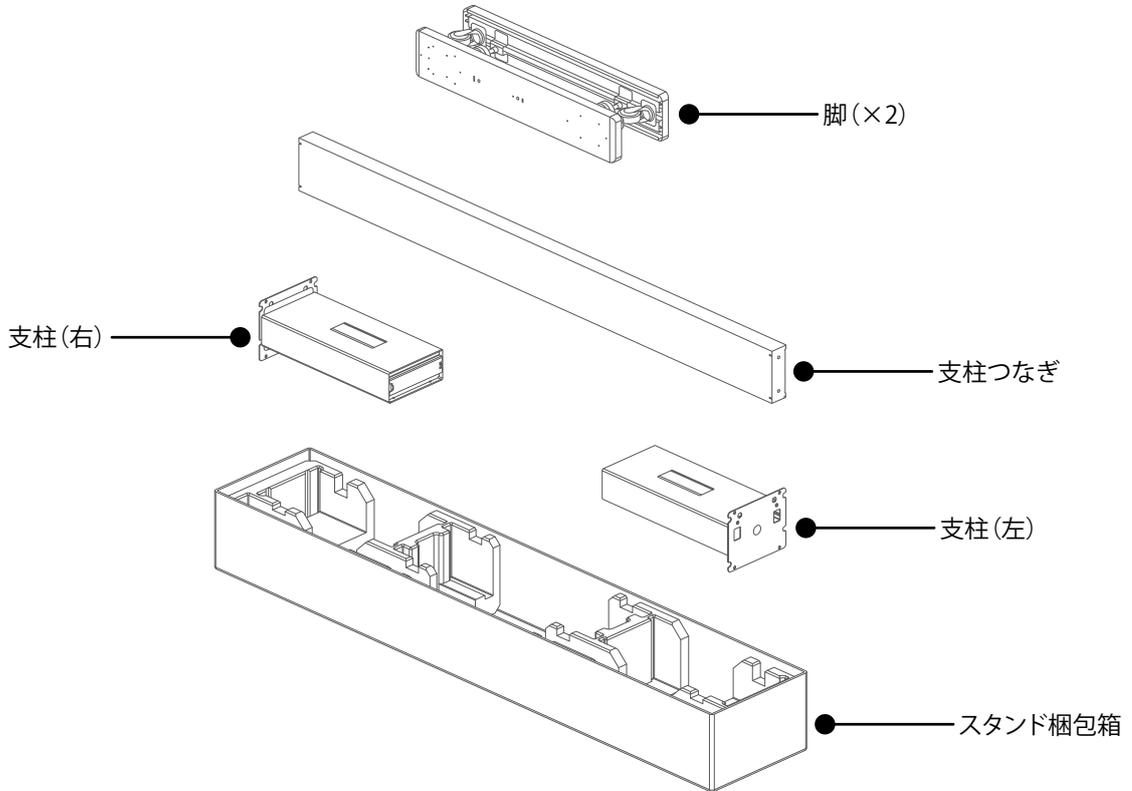
テスト印刷

MSMの
インストール

スリープモード

専用スタンドの開梱

1 梱包箱を開き、各部品を取り出します。



2 同梱品がすべてそろっているか、確認します。



組み立て

スタンドの組み立て



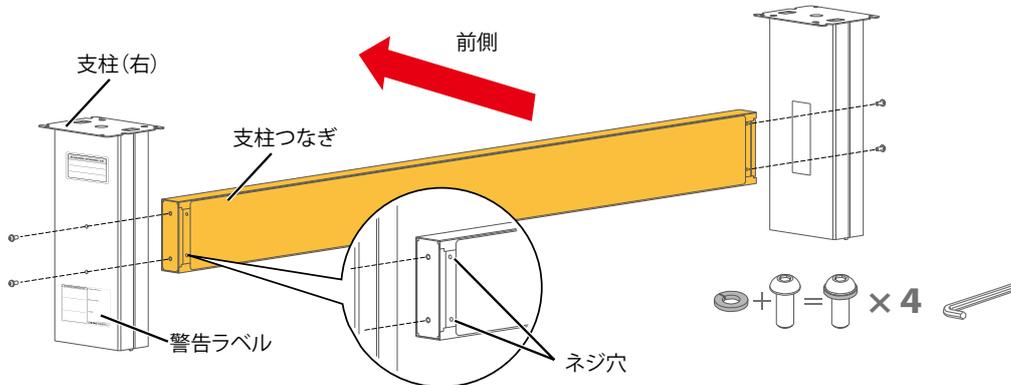
注意

スタンドを組み立てるときは、かならず2人以上で作業してください。

以下の手順に従って、スタンドを組み立てます。

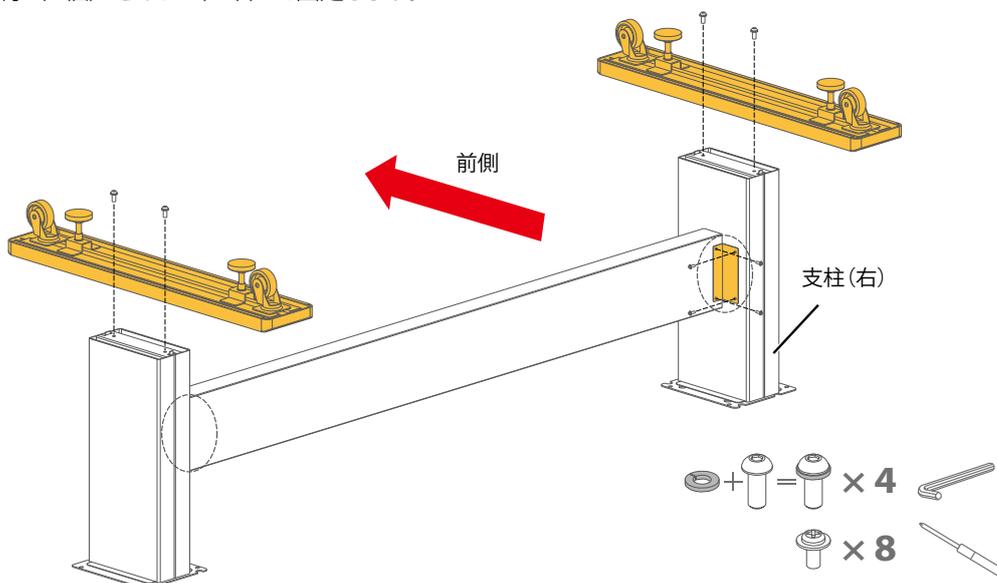
1 支柱に支柱つなぎを取り付けます。

- 支柱つなぎの切欠き面（ネジ穴がある面）が後側に来るように取り付けます。
- 警告ラベルが貼られているほうが、支柱（右）です。
- バネ座金を取り付けた六角穴付ボルト（4本）で固定します。



2 支柱に脚を取り付けます。

- 脚上面のネジ穴（4か所）が前側に来るように取り付けます。
- バネ座金を取り付けた六角穴付ボルト（4本）で固定します。
- 補強材（2個）をネジ（8本）で固定します。



設置前の確認

開梱

組み立て

ケーブルの接続

セットアップ

テスト印刷

MSMの
インストール

スリープモード

設置前の確認

開梱

組み立て

ケーブルの接続

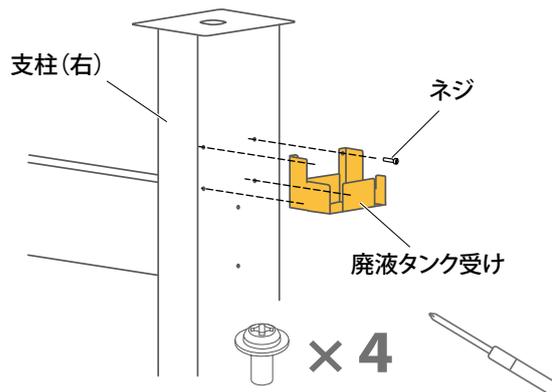
セットアップ

テスト印刷

MSSMの
インストール

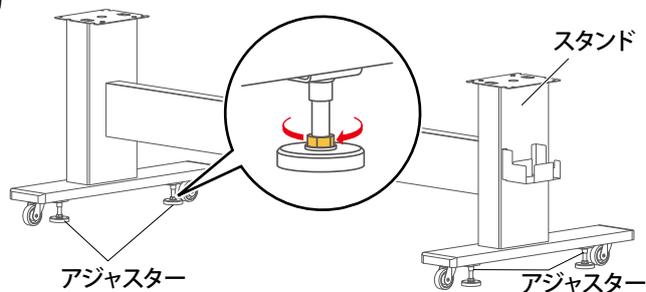
スリープモード

- 3** 廃液タンク受けを支柱(右)に、ネジ(4本)で固定します。



- 4** スタンドを揺らすなどして、各部品がしっかり固定されているか確認します。

- 5** 専用スタンドのアジャスター(4箇所)を図の方向に回転させ、専用スタンドを固定します。



プリンターの取り付け

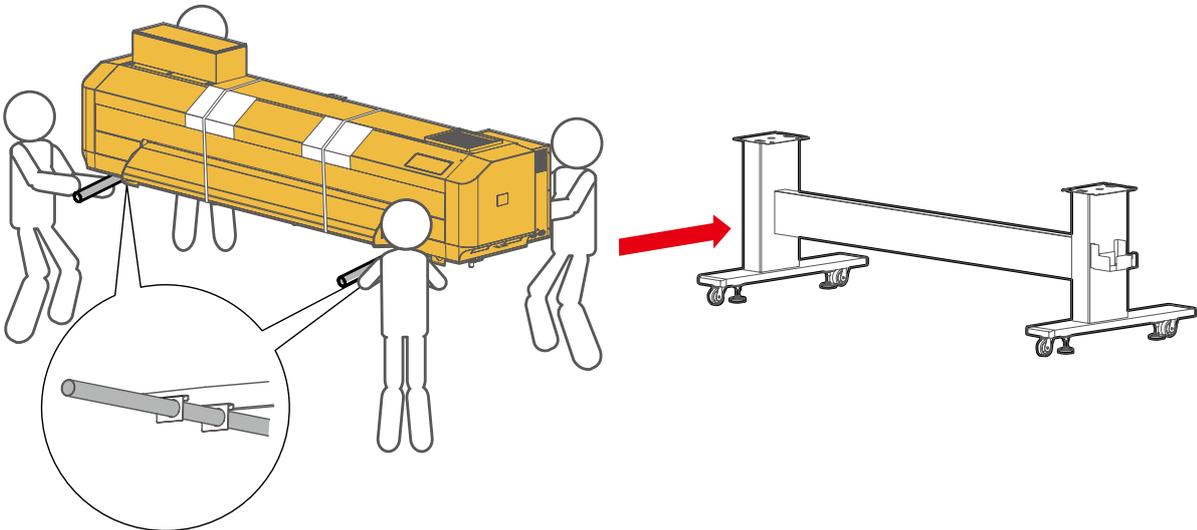
⚠ 注意

- ・プリンターを開梱または移動する場合は、かならず4人以上で作業してください。
- ・本製品を梱包箱から取り出すときは、かならずビニールを外してください。
- ・ビニールを付けたまま持ち上げると、手を滑らせて落下、破損させる恐れがあります。
- ・プリンターは水平の状態を保ったまま移動してください。

以下の手順に従って、スタンドにプリンターを取り付けます。

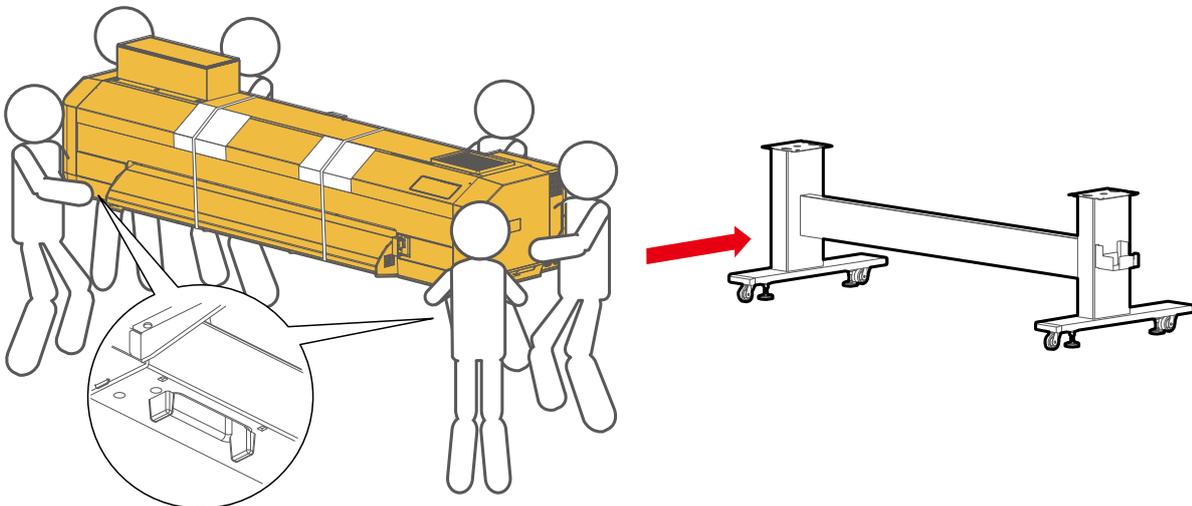
1 プリンターを4人以上で持ち上げ、専用スタンドの上に載せます。

- ・プリンターを持つときは、搬送棒をプリンター下部のガイド穴に通して、搬送棒を使って持ち上げます。



(搬送棒が準備できない場合) プリンターを6人以上で持ち上げ、専用スタンドの上に載せます。

- ・プリンター前側を持つときは、下面のくぼみを利用します。



設置前の確認

開梱

組み立て

ケーブルの接続

セットアップ

テスト印刷

MSMの
インストール

スリープモード

設置前の確認

開梱

組み立て

ケーブルの接続

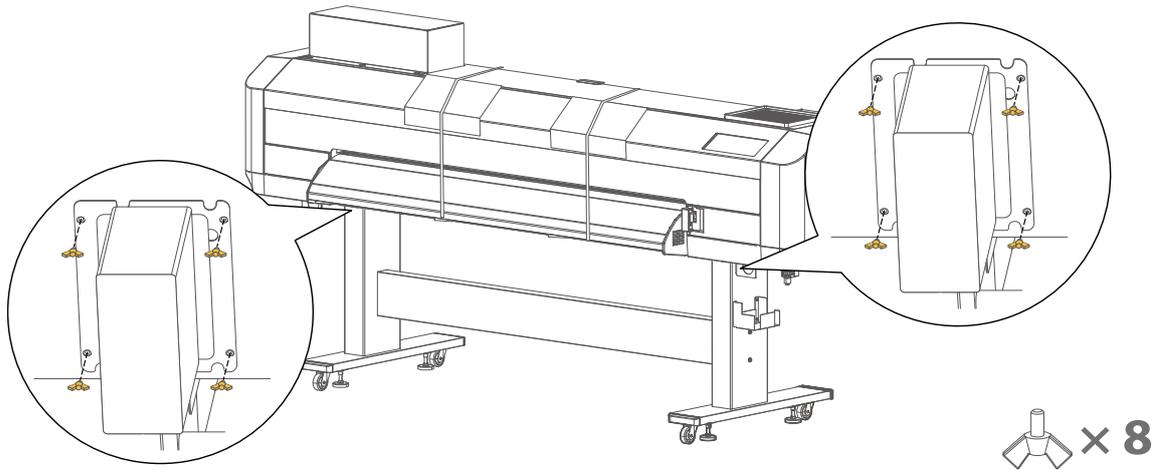
セットアップ

テスト印刷

MSSMの
インストール

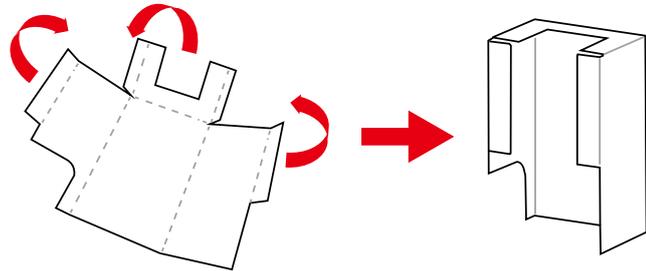
スリープモード

2 製品と専用スタンドを、蝶ボルト (8本) で固定します。



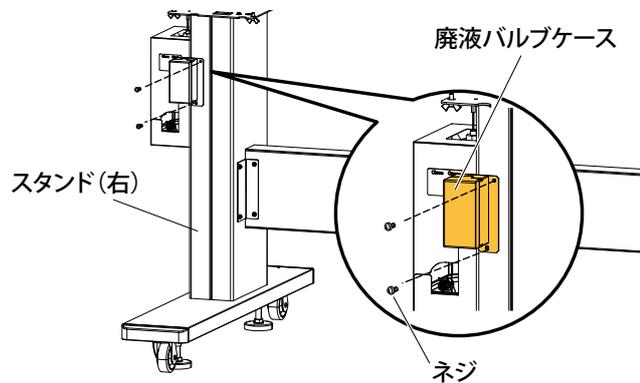
廃液タンクの取り付け

- 1 遮光カバーを組み立てます。



- 2 廃液バルブケースを取り付けます。

- ・ 廃液バルブケースの板金を付属のネジ（2本）で固定します。

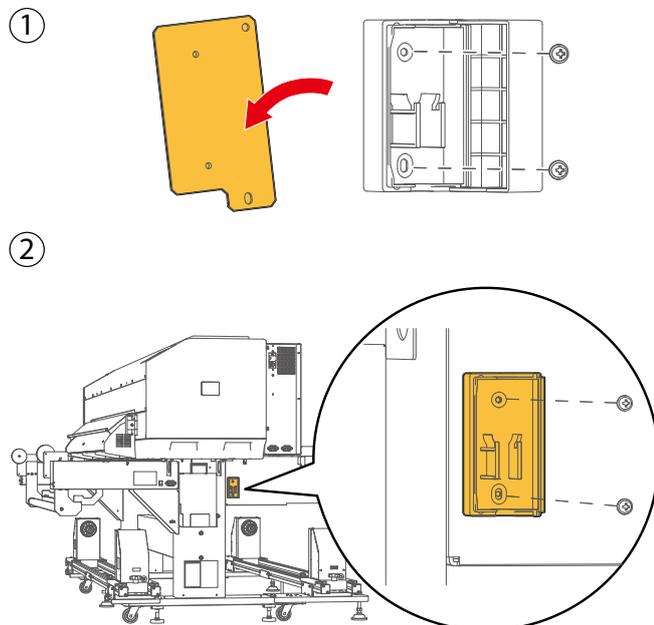


重量巻き取りユニット（オプション）を使用している場合。（イラストの機体は別機種）

- ① 廃液バルブケースの板金を取り外します。
- ② 板金を外した廃液バルブケースを、の位置に付属のネジ（2本）で固定します。

Note

廃液バルブケースから取り外した板金とネジは保管しておいてください。



- 3 廃液タンク受けに、廃液タンクをのせます。

設置前の確認

開梱

組み立て

ケーブルの接続

セットアップ

テスト印刷

MSMの
インストール

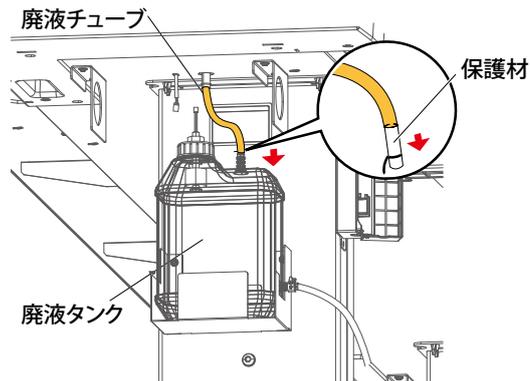
スリープモード

4 廃液タンクに廃液チューブを取り付けます。

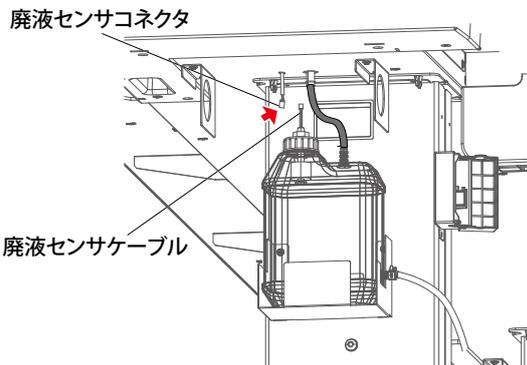
- ・ 廃液チューブの保護材を引き抜いてから、廃液タンクに廃液チューブを差し込みます。

Important!

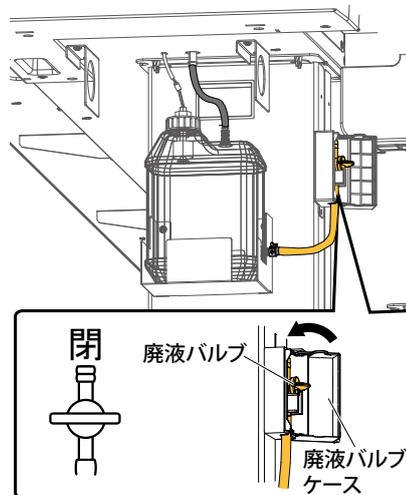
廃液チューブが、廃液タンクの口にしっかりと差し込まれていることを確認してください。しっかりと差し込まれていない場合、インク漏れが発生するおそれがあります。



5 廃液センサーケーブルを廃液センサーコネクタに差し込みます。

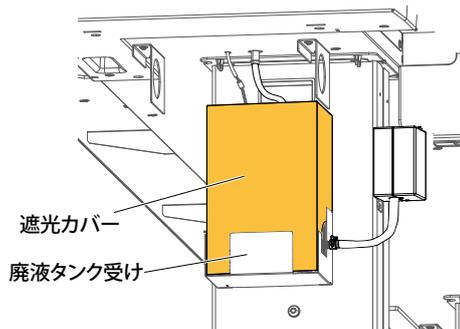


6 廃液バルブが閉じていることを確認し、廃液バルブケースに収納してカバーを閉じます。



7 遮光カバーを廃液タンクに取り付けます。

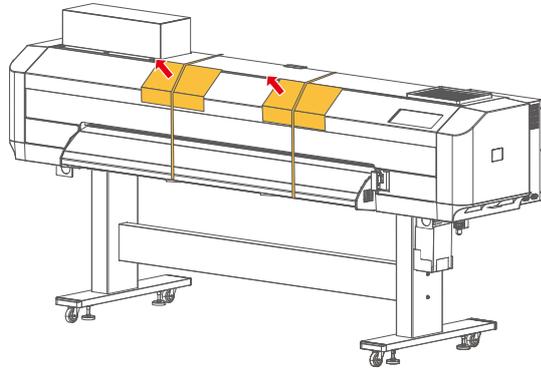
- ・ 遮光カバーは、廃液タンク受けの内側に差し込みます。



保護材の取り外し

以下の手順に従って、プリンターの保護材を取り外します。

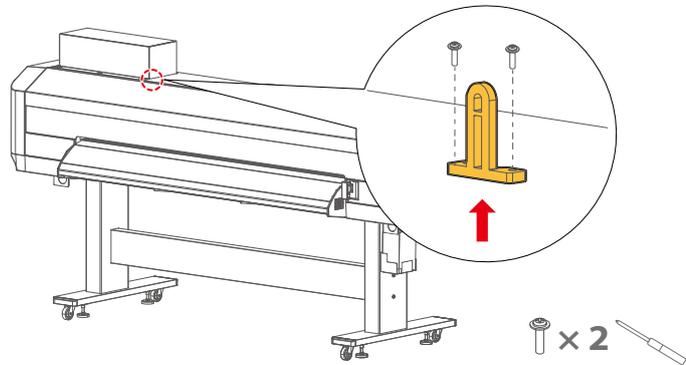
- 1 フロントカバーの保護材を取り外します。



- 2 ネジ(2本)を外し、フロントカバー固定材(上)を取り外します。

Important!

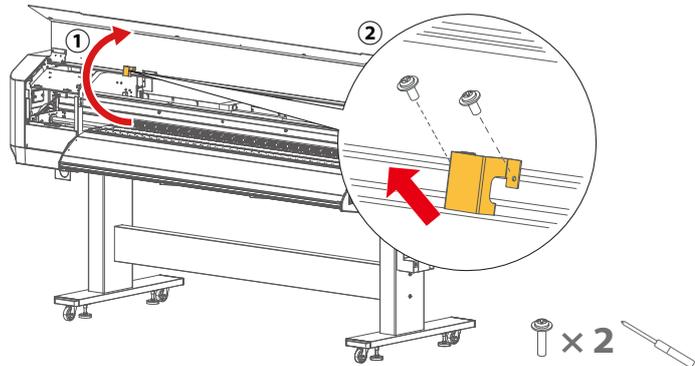
フロントカバーを開く前にならずフロントカバー固定材(上)を取り外してください。取り外さずに開けようとする、フロントカバーが破損する原因となります。



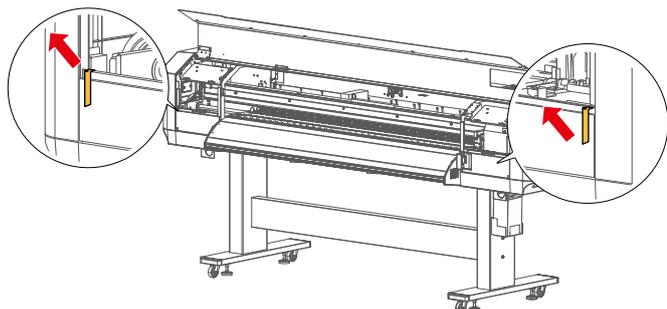
- 3
- ・フロントカバーを開きます (①)。
 - ・ネジ(2本)を外し、フロントカバー固定材(下)を取り外します (②)。

Important!

取り外したフロントカバー固定材(上、下)とネジは保管してください。プリンターを移動または輸送するときに再利用します。



- 4 メンテナンスカバーのテープを剥がします。



設置前の確認

開梱

組み立て

ケーブルの接続

セットアップ

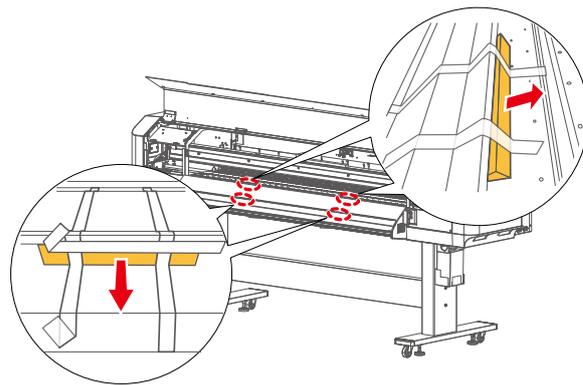
テスト印刷

MSMの
インストール

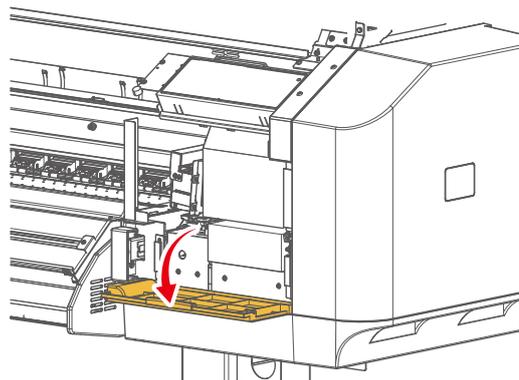
スリープモード

5 遮光カバー下の保護材を取り除きます。

- テープを剥がし、保護材を引き抜きます。
- 保護材は、遮光カバーの上側2か所、下側2か所の計4か所にあります。



6 右側のメンテナンスカバーを開きます。

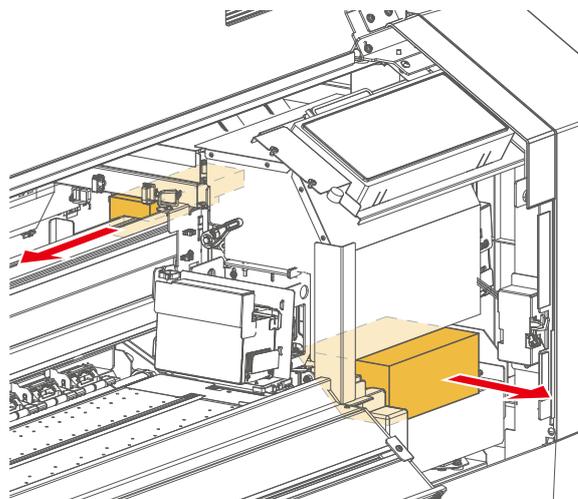


7 キャリッジ周りの保護材を取り除きます。

- 保護材は、キャリッジの下側と背面側の計2か所にあります。

Important!

- 取り外した保護材は保管してください。プリンターを移動または運搬するときに再利用します。
- プリンターを移動するときには、キャリッジの下側の保護材を取り付けてください。

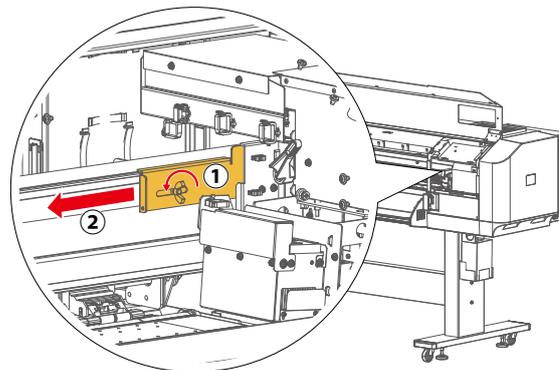


8 キャリッジ固定材を取り外します。

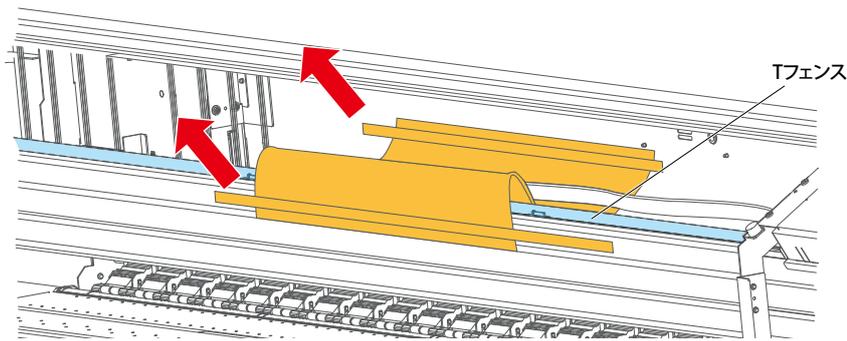
- ツマミネジをゆるめます (①)。
- ツマミネジとキャリッジ固定材を一緒に本体から取り外します (②)。

Important!

- 取り外した固定材とネジは保管してください。プリンターを移動または輸送するときに再利用します。



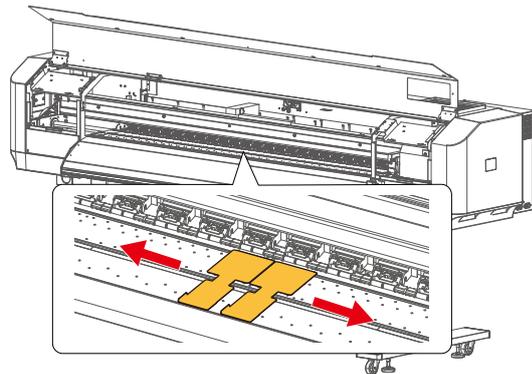
- 9 テープを剥がし、フロントカバー奥にある保護材を取り外します。



Important!

保護材を取り外す際に、Tフェンス（透明な部品）には絶対に触れないでください。
Tフェンスがゆがむと印刷品質に悪影響がでる場合があります。

- 10 テープを剥がし、エッジホルダーを左右の端に移動します。



- 11 各部に貼られているテープを全て剥がします。

設置前の確認

開梱

組み立て

ケーブルの接続

セットアップ

テスト印刷

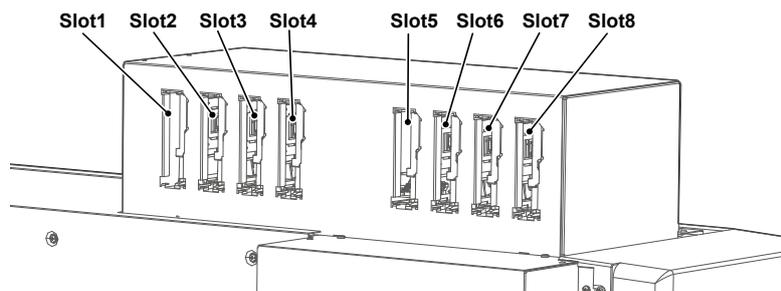
MSMの
インストール

スリープモード

カラーラベルの貼り付け

ご使用のインク設定に合わせて、インクスロットの上部に同梱品のカラーラベルを貼り付けます。
プリンター背面から見たスロット番号とインクの関係は次のとおりです。

	Slot1	Slot2	Slot3	Slot4	Slot5	Slot6	Slot7	Slot8
6 colors	K	M	C	Y	Va	Va	Wh	Wh
4 colors	M	M	C	C	K	K	Y	Y



設置前の確認

開梱

組み立て

ケーブルの接続

セットアップ

テスト印刷

MSMのインストール

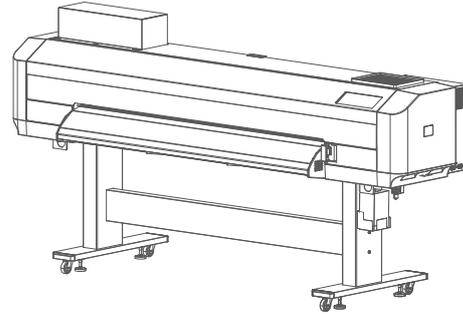
スリープモード

ケーブルの接続

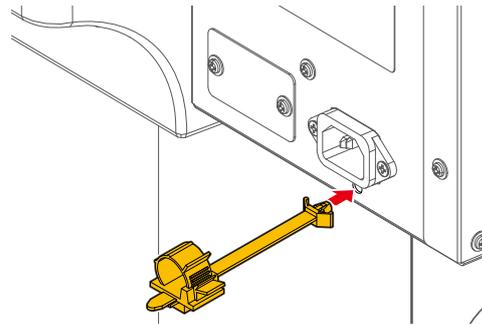
電源コードとイーサネットケーブルの接続

以下の手順に従って、電源コードとイーサネットケーブルを接続します。

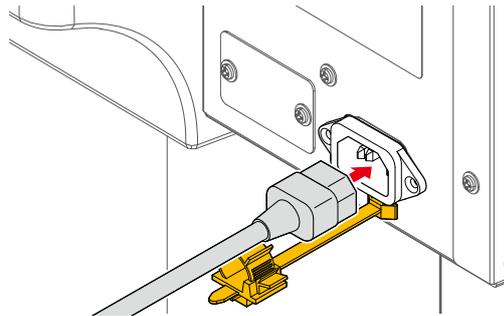
- 1** フロントカバーが閉じていることを確認します。



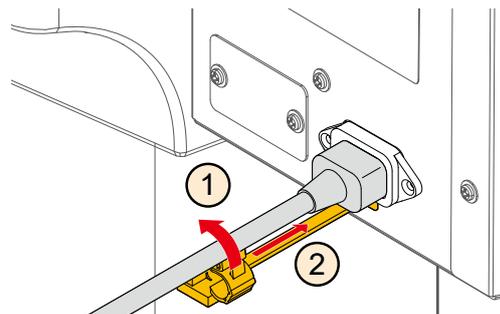
- 2** プリンターにコードクランプを取り付けます。



- 3** プリンターのインレットに電源コードを接続します。



- 4** 電源コードをコードクランプに固定します。
1. クランプに電源コードを通して、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。
 2. クランプをインレット方向にスライドさせてください。



設置前の確認

開梱

組み立て

ケーブルの接続

セットアップ

テスト印刷

MSMの
インストール

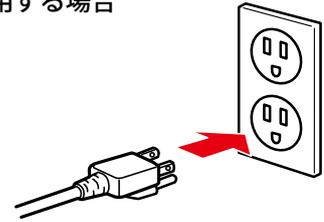
スリープモード

- 5 電源コードのプラグをコンセントに正しく差し込みます。

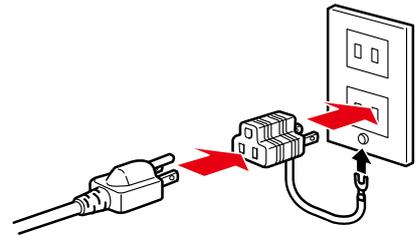
警告

- 電源タップを使用しないでください。
- 3芯2芯変換コネクタプラグを使用する場合は、必ずアース線を接続してください。

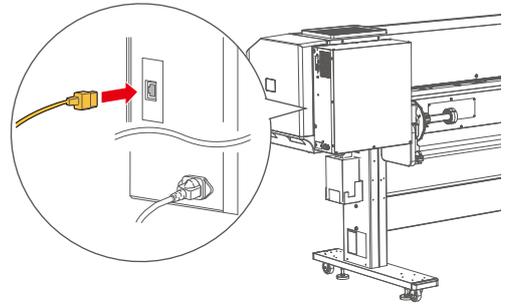
3芯プラグを使用する場合



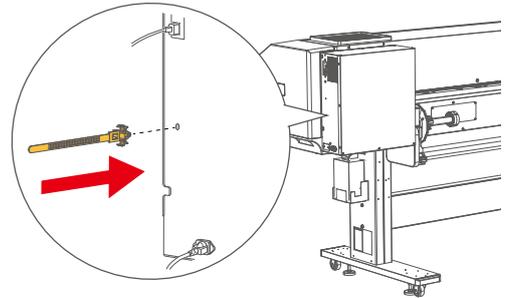
3芯2芯変換コネクタプラグを使用する場合



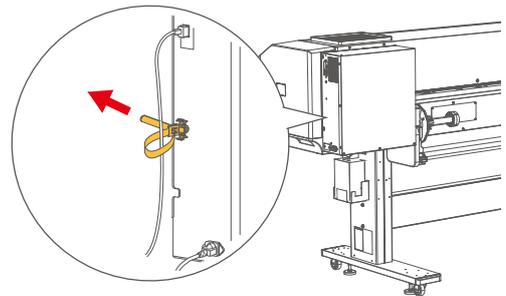
- 6 電源コードとイーサネットケーブルをプリンターに接続します。



- 7 リユースバンドをプリンターに取り付けます。



- 8 イーサネットケーブルをリユースバンドでプリンターに固定します。



セットアップ

セットアップの流れ

以下のフローに従って、初回のセットアップを行います。

初期設定

プリンターコントロールパネルの表示言語、単位、本製品のネットワークを設定します。

アクティベーション

本製品のアクティベーションを、プリンターコントロールパネルで行います。

初期洗浄～初期充てん

本製品にインクバックケースを取り付け、プリントヘッドをインクで満たします。

メディアをセットする

ノズルチェックを印刷するメディアをセットします。

ノズルチェックとクリーニング

ノズルチェックを印刷し、ノズルの目詰まりがなくなるまでヘッドクリーニングを行います。

MUTOH Status Monitor のインストール

プリンターの IP アドレスを、プリンターコントロールパネルで入力します。
MUTOH Status Monitor (MSM) のインストールを行い、MSM 上で設定を行います。

セットアップ完了!

プリンターコントロールパネルの使い方

操作パネルはタッチパネルになっており、操作が有効なキーが発光するようになっています。

- タップ：キーに軽く触れて、すぐに指を離します。
- ロングタッチ：キーに触れた状態を保ちます。

設置前の確認

開梱

組み立て

ケーブルの接続

セットアップ

テスト印刷

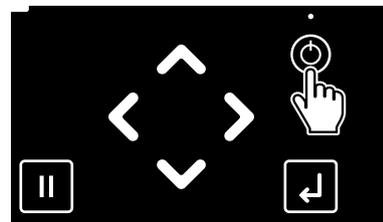
MSM の
インストール

スリープモード

初期設定

プリンターを起動して、ディスプレイ表示の設定を行います。

- 1 フロントカバーが閉じていることを確認します。
- 2 プリンターコントロールパネルの電源ボタンを2秒以上押します。
 - ・各キーが点灯します。



- 3 パネルに表示する言語を選択します。
 - ・初回起動時は [Language: English] が表示されます。
 - ・ / キーで言語を選択し、 Enter キーをタップします。

- 4 長さの単位を選択します。
 - ・ [ナガサタンイ: mm] が表示されます。
 - ・ / キーで選択し、 Enter キーをタップします。

- 5 インク残量表示を設定します。
 - ・ [インクリョウ: オン] が表示されます。
 - ・ / キーで [オン] または [オフ] を選択し、 Enter キーをタップします。

- 6 本製品の IP アドレスを設定します。
 - ・ [IP アドレス: 192.168.1.253] が表示されます。
 - ・ / キー: 設定値を増減させます。
 - ・ キー: カーソルが前の設定値に移動します。
 - ・ キー: カーソルが次の設定値に移動します。
 入力後、 Enter キーをタップします。

- 7 本製品のサブネットマスクを設定します。
 - ・ [サブネットマスク: 255.255.255.0] が表示されます。
 - ・ / キー: 設定値を増減させます。
 - ・ キー: カーソルが前の設定値に移動します。
 - ・ キー: カーソルが次の設定値に移動します。
 すべての設定値を入力してください。入力後、 Enter キーをタップします。

設置前の確認

開梱

組み立て

ケーブルの接続

セットアップ

テスト印刷

MSSMのインストール

スリープモード

8 本製品のゲートウェイを設定します。

- [ゲートウェイ： 192.168.1.254] が表示されます。
 - ▲ / ▼ キー：設定値を増減させます。
 - ⬅ キー：カーソルが前の設定値に移動します。
 - ➡ キー：カーソルが次の設定値に移動します。
- すべての設定値を入力してください。入力後、⏎ Enter キーをタップします。

9 エラー時などに鳴る警報ブザーの動作を選択します。

- [ケイコブザー：オン] が表示されます。
- ▲ / ▼ キーで [オン] または [オフ] を選択し、⏎ Enter キーをタップします。

10 本製品が初期動作を開始します。

イニシャルチュウ

アクティベーション

プリンターコントロールパネルに従って、アクティベーションを行います。

右のメッセージが表示されたらアクティベーションを行ってください。アクティベーションには2種類の方法があります。お好みの方法をお選びください。

🔗 「プリンターコントロールパネルから設定する場合」 P.35

🔗 「インターネットから設定する場合」 P.36

Note

上記のメッセージが表示されているときに ([Home] キー) タップすると、IP アドレスなどの初期設定をやり直すことができます。

プリンターコントロールパネルから設定する場合

1 [アクティベーション ㊦ シテクダサイ] が表示されたら、⏎ Enter キーをタップします。

- [0000-0000-0000-0000] が表示されます。

2 16桁のアクティベーションコードを入力します。

- ▲ / ▼ キー：設定値を増減させます。
- ⬅ キー：カーソルが前の設定値に移動します。
- ➡ キー：カーソルが次の設定値に移動します。
- 入力後、⏎ Enter キーをタップします。

Note

アクティベーションコードは販売店から E メールなどで入手してください。

設置前の確認

開梱

組み立て

ケーブルの接続

セットアップ

テスト印刷

MSMの
インストール

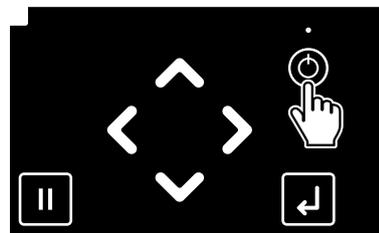
スリープモード

3 [アクティベーション セイコウ! プリンタ ヲ サイキドウ]のメッセージが表示されたら、電源ボタンを2秒以上押して、電源をオフにします。

- ・「テンゲンシャダンチュウ」のメッセージが表示されたら、電源ボタンを離してください。

しばらく待ってから電源ボタンを2秒以上押して、再起動します。

アクティベーション セイコウ!
プリンタ ヲ サイキドウ



インターネットから設定する場合

右のメッセージが表示されたら、「プリンタ・アクティベーションガイド」に従ってアクティベーションを行ってください。

アクティベーション ヲ シテクダサイ

Note

「プリンタ・アクティベーションガイド」とアクティベーションコードは、下記の URL から MUTOH Club へアクセスし、「新規登録」からユーザー登録を行うと入手できます。

<https://mutoh-club.com/mutoh/guser/>

初期洗浄～初期充てん

必要なもの：

- ・ 洗浄カートリッジ：8本
- ・ インクカートリッジ（またはインクパック）：8本

4色使用時	6色使用時
ブラック (K)：2本	ブラック (K)：1本
シアン (C)：2本	シアン (C)：1本
マゼンタ (M)：2本	マゼンタ (M)：1本
イエロー (Y)：2本	イエロー (Y)：1本
	バーニッシュ (Va)：2本
	ホワイト (Wh)：2本

Important!

初期洗浄と初期充てんする場合は、ヘッドの高さを変えず初期状態の高さ「Low」のまま、行ってください。

Note

- ・ インクパックを使う場合は、大容量パックアダプターが必要です。
- ・ 大容量パックアダプターの取り扱い方法につきましては、大容量パックアダプターの取扱説明書を参照してください。

1. 初期洗浄

1 初期洗浄を行います。

[インクジュウテン カイシ]が表示されたら、 Enter キーをタップします。

- ・ [Color: 4Color]が表示されます。

Note

[インクジュウテン カイシ]が表示されているときに  ([Home] キー) をタップすると、IP アドレスなどの初期設定をやり直すことができます。

2 使用するカラーの組み合わせを選びます。

 /  キーで [4 color] または [6 color] を選択し、 Enter キーをタップします。

- ・ [*Color OK? イイエ]が表示されます。

Note

カラーの組み合わせ選択は初回起動時のみ表示されます。

Color: 4Color

Color: 6Color

3 カラーの組み合わせを確定する場合は、 / キーで [ハイ] を選択し、 Enter キーをタップします。

- ・ やり直す場合は、[イイエ] を選択して  Enter キーをタップします。

*Color OK?
イイエ

*Color OK?
ハイ

設置前の確認

開梱

組み立て

ケーブルの接続

セットアップ

テスト印刷

MSMの
インストール

スリープモード

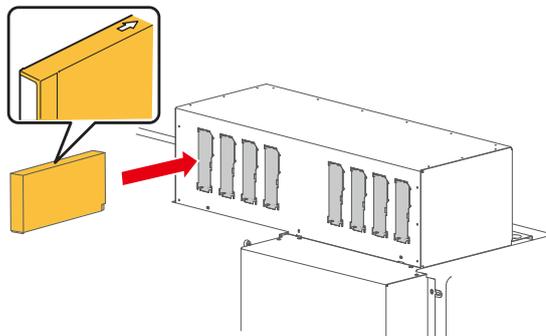
4 [ハイエキ ヲ ステテ、Enter キーヲタップシテクダサイ]が表示されます。

-  Enter キーをタップします。

5 [センジョウカートリッジ ヲ セット]が表示されます。

6 すべてのインクスロットに洗浄カートリッジを差し込みます。

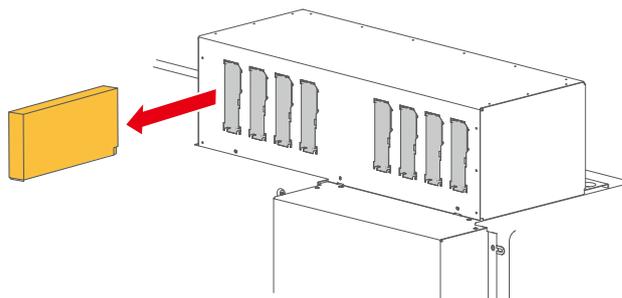
- 矢印マークを上にしてください。
- 奥までしっかり差し込んでください。
- セット後、[ヘッドセンジョウチュウ]が表示され、洗浄液の充てんを開始します。



7 充てんが終わると、[カートリッジヲ ヌイテクダサイ]が表示されます。

8 すべての洗浄カートリッジを抜きます。

[ヘッドセンジョウチュウ **%]が表示され、洗浄液の排出を開始します。



9 洗浄液の排出が終わると、右のメッセージが表示されます。

- 廃液タンクを空にします。
-  「2. 廃液の排出」 P.39

ハイエキ ヲ ステテ、
Enterキーヲ タップシテクダサイ

2. 廃液の排出

警告



- ・ 廃液は直射日光を避け、冷暗所に保管してください。
- ・ 廃液は火気や高温のものから遠ざけてください。
- ・ 廃液は少量であっても、他の物質、液体と混合しないでください。他の物質（酸化剤など）と混合すると、発熱の原因となります。



- ・ 廃液は HDPE 製かつ、遮光性がある容器で保管してください。
- ・ 廃液を長期保管をする場合は、完全密封状態とせず容器に通気口を設けてください

注意



UV 硬化インクおよび廃液が皮膚や目に付着すると、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。作業を行うときは、かならず付属の手袋（もしくは耐溶剤性の手袋）とゴーグルを着用し、インクが付着しないよう注意してください。

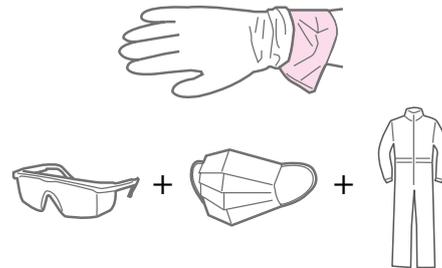
- 1 廃液を移し替える容器を用意します。

Important!

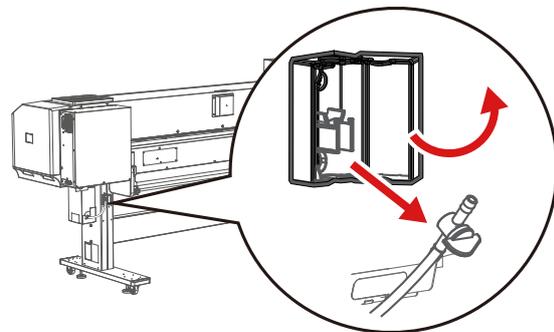
廃液タンクの容量は 2,000ml です。廃液を排出するときは、十分な容量の容器を用意してください。

- 2 いらない用紙などを廃液タンクの下にします。

- 3
 - ・ ポリエチレン手袋の上に、ゴム手袋を重ねて着用します。
 - ・ ゴーグル、保護マスク、保護衣など保護具を着用します。



- 4 廃液バルブケースのカバーを開き、廃液バルブを取り外します。



設置前の確認

開梱

組み立て

ケーブルの接続

セットアップ

テスト印刷

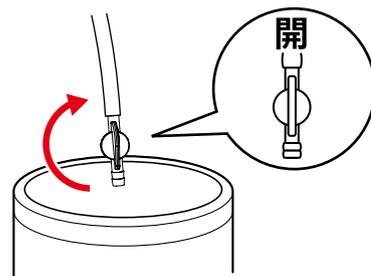
MSMの
インストール

スリープモード

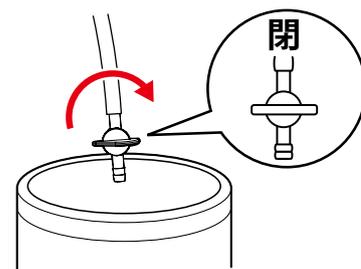
- 5 廃液バルブの先端を空容器に入れた後、廃液バルブを開き、空容器に廃液を移します。

Important!

廃液バルブを開き空容器に廃液を移すときに、廃液が飛び散ることがあります。廃液バルブの先端を空容器に入れて処理を行ってください。

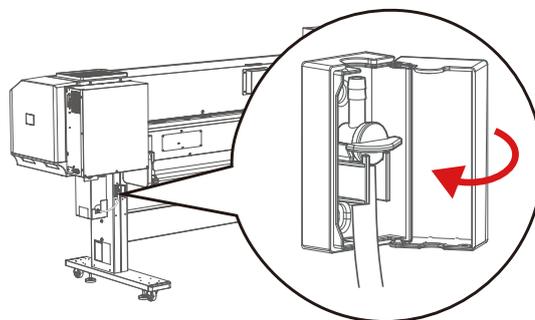


- 6 廃液を空容器に移し終わったら、廃液バルブを確実に閉めます



- 7 廃液バルブの口を乾いた布で拭き取ります。

- 8 廃液バルブを廃液バルブケースに収納し、カバーを閉じます。



- 9 廃液は産業廃棄物として処理します。



警告



- ・プリンターから出る廃液は、産業廃棄物（事業系 19 品目の内）に該当します。
- ・廃棄物処理法および各自治体の条例に基づき、適正な廃液処理が義務付けられます。廃液処理業者に処理を委託してください。
- ・本製品から出る廃液は水生生物に対し有害です。生活排水や自然水系への流出を防いでください。

- 10 廃液の処理が終わったら、 Enter キーをタップします。

ハイエキ ヲ ステテ、
Enterキーヲ タップシテクダサイ

3. 初期充てん

- 1 [インクカートリッジ ヲ セット]が表示されます。

- 2 新しいインクカートリッジを用意し、下記の方法でインクをかくはんします。

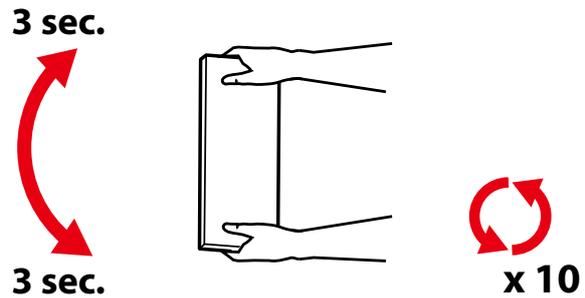
- ・差し込み口を上に向けて3秒待ちます。
- ・次に、差し込み口を下に向けて3秒待ちます。
- ・これを10回繰り返します。※Whは20回。

 **Important!**

必ず新品のインクカートリッジを使用してください。

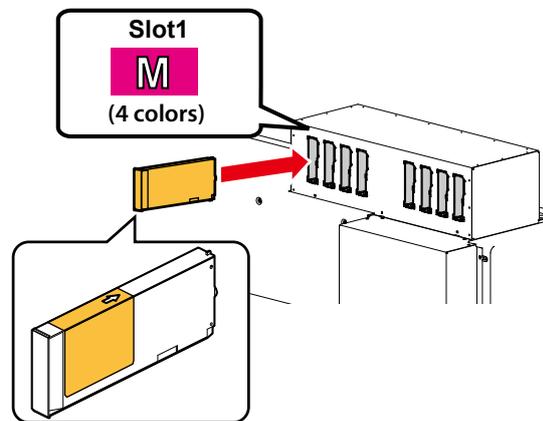
 **Note**

パーニッシュインクは、かくはんせずにご使用いただけます。



- 3 新しいインクカートリッジを取り付けます。

- ・本製品のラベルとインクカートリッジの色を合わせてください（右のイラストは4色設定の例です）。
- ・矢印マークを上にしてください。
- ・奥までしっかり差し込んでください。



設置前の確認

開梱

組み立て

ケーブルの接続

セットアップ

テスト印刷

MSMの
インストール

スリープモード

4 [インクジュウテンチュウ**%]が表示されます。

- ・インク充てんを開始します。



注意



インク充てん中に、以下の動作を行わないでください。

- ・製品の電源をオフにする
- ・製品の電源コードを抜く
- ・フロントカバーを開ける
- ・メンテナンスカバーを開ける
- ・加圧アームを上げる

5 インク充てんが完了すると、右のメッセージが表示されます。

メディア ナシ
PG : Low

- ・インク充てんが完了しました。

テスト印刷

メディアをセットする



注意

セットするメディアに合わせて、2人以上で作業することをおすすめします。

以下の手順に従って、プリンターにメディアをセットします。

1. メディアにフランジを取り付ける

必要なもの：

- メディア：1本
- フランジ：2個

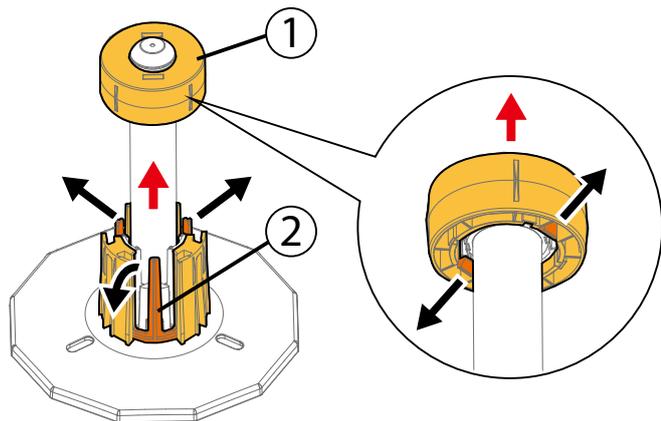
1 用途に応じて、フランジのアダプターを変更します。

■内径が2インチのメディアを使用する場合
フランジから3インチアダプターを取り外します。

- ①：アダプターのツメ（2箇所）を開きながら、アダプターを引き抜きます。
- ②：アダプターのツメ（3箇所）を開きながら、アダプターを引き抜きます。

Note

- ②のアダプターが外れない場合は、手順2を参照してフランジのハンドルを反時計回りに回転させて、ゆるめてから再度行ってください。
- 内径が3インチのメディアを使用する場合は、この手順は実行しないでください。

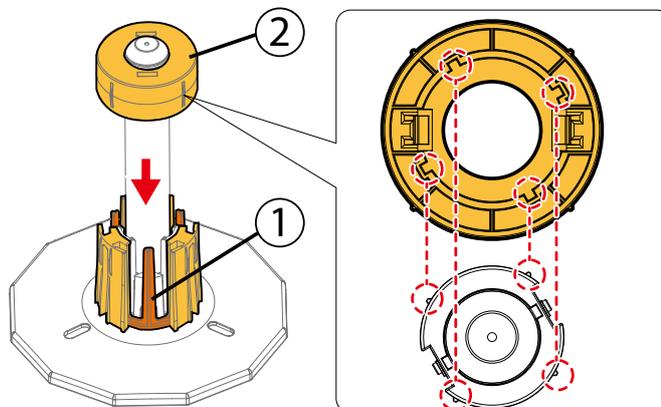


■内径が2インチのメディアから3インチのメディアに変更して使用する場合
フランジに3インチアダプターを取り付けます。

- ①：アダプターのツメ（3箇所）とフランジの根本にある凹部を合わせてアダプターを取り付けます。
- ②：アダプターの内側にある切り欠き（4箇所）と、フランジの先端にある突起（4箇所）の位置を右図のように合わせてアダプターを取り付けます。

Note

- ②のアダプターの位置を合わせずに取り付けた場合、アダプターが固定されません。



設置前の確認

開梱

組み立て

ケーブルの接続

セットアップ

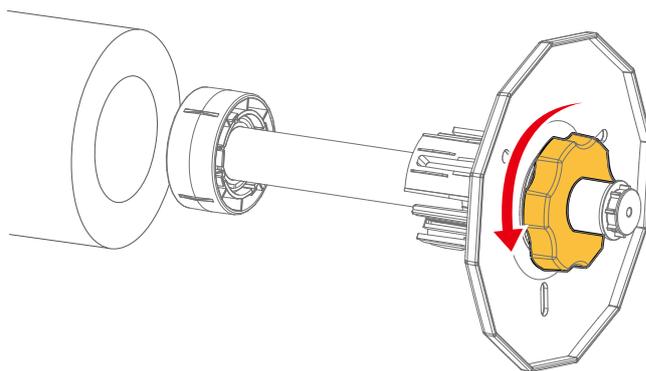
テスト印刷

MSMの
インストール

スリープモード

2 メディア両端にフランジ（2個）を取り付けます。

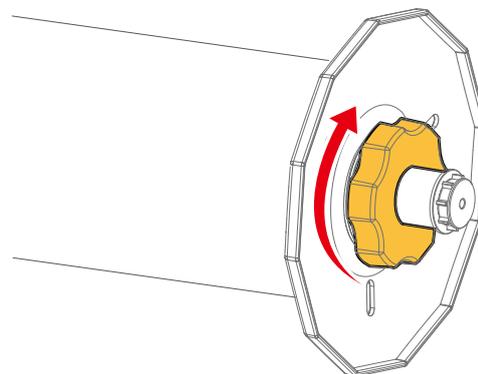
- ・フランジのハンドルを反時計回りに回転させて、メディアに取り付けられる状態にします。



3 フランジのハンドルを時計回りに回転させて、フランジを固定します。

Important!

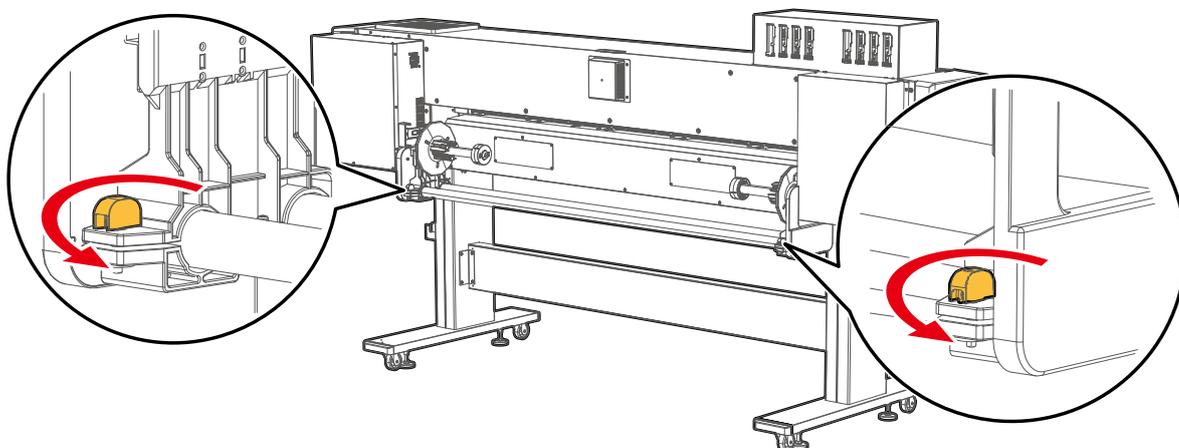
メディアがしっかりと固定されていることを確認してください。固定が甘い場合、印刷中にメディアがフランジから外れ、印刷品質に影響を与える恐れがあります。



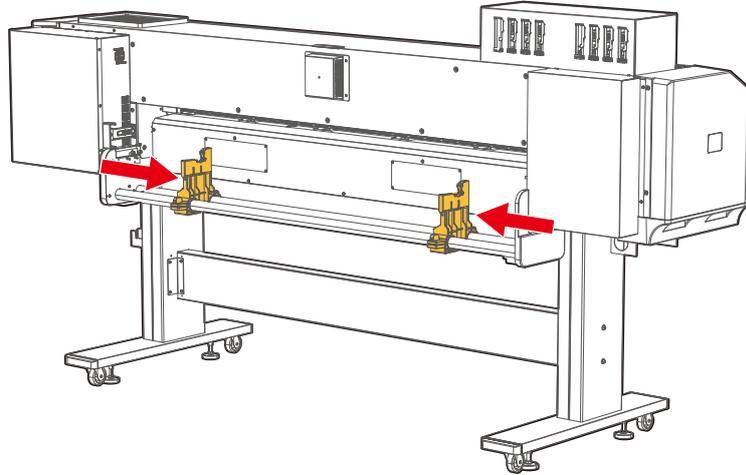
2. ロール紙受けのトルクを設定する

ロール紙受けにトルクを設定するには、以下の手順で行います。

1 左右のロール紙受けのノブボルトを反時計回りに回転させて、緩めます。

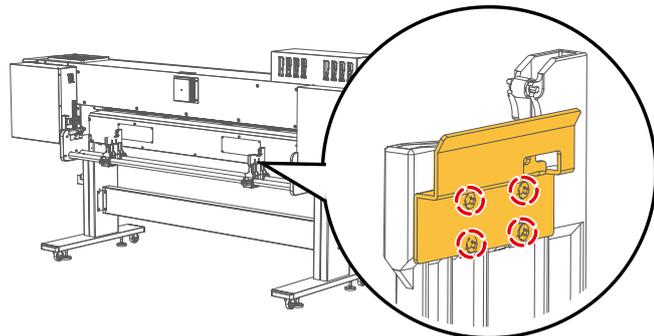


- 2 作業をしやすいように、左右のロール紙受けをプリンターの中央に向かって 30cm ほど動かします。



- 3 左右のロール紙受けのノブボルトを締めます。

- 4 背面から向かって右側のロール紙受けにあるロール軸ガイドのネジをドライバーで緩めます



- 5 ロール軸ガイドを上にはずして、突き当たったところでネジを締めます。



ロール軸ガイド(右)

設置前の確認

開梱

組み立て

ケーブルの接続

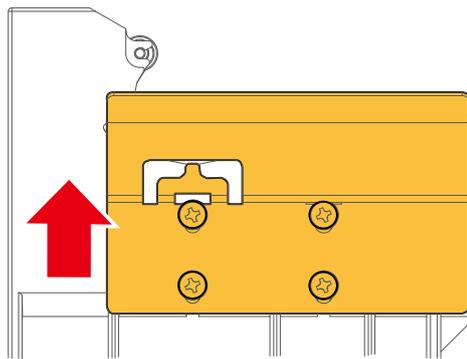
セットアップ

テスト印刷

MSMの
インストール

スリープモード

- 6 左側のロール紙受けにあるロール軸ガイドも、同様にずらしてからネジを締めます。



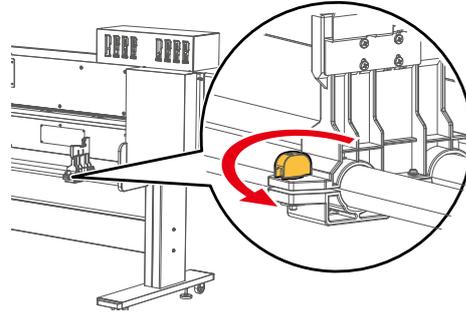
ロール軸ガイド(左)

- 7 左右のロール紙受けのノブボルトを緩め、左右のロール紙受けの位置を元に戻します。

- 8 左右のロール紙受けのノブボルトを締めます。

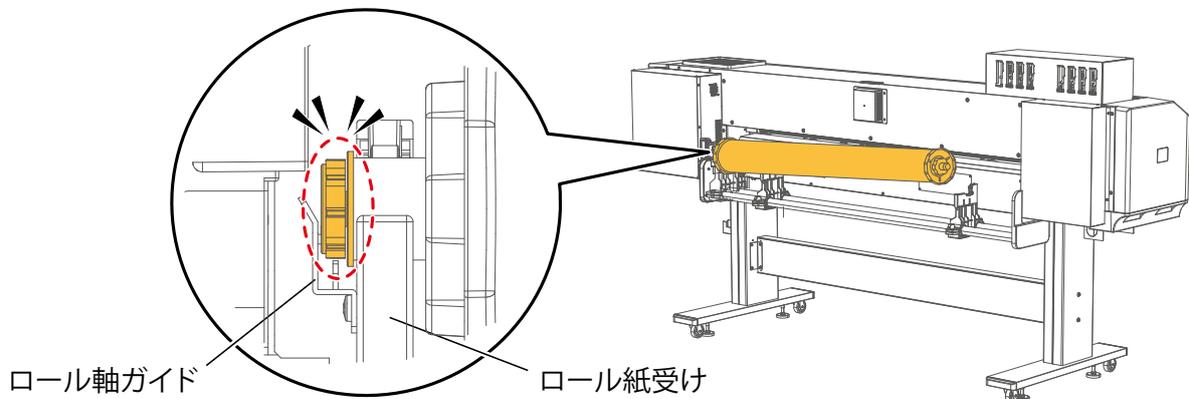
3. ロール紙受けにメディアを取り付ける

- 1 右側のロール紙受けのノブボルトを反時計回りに回転させて、緩めます。



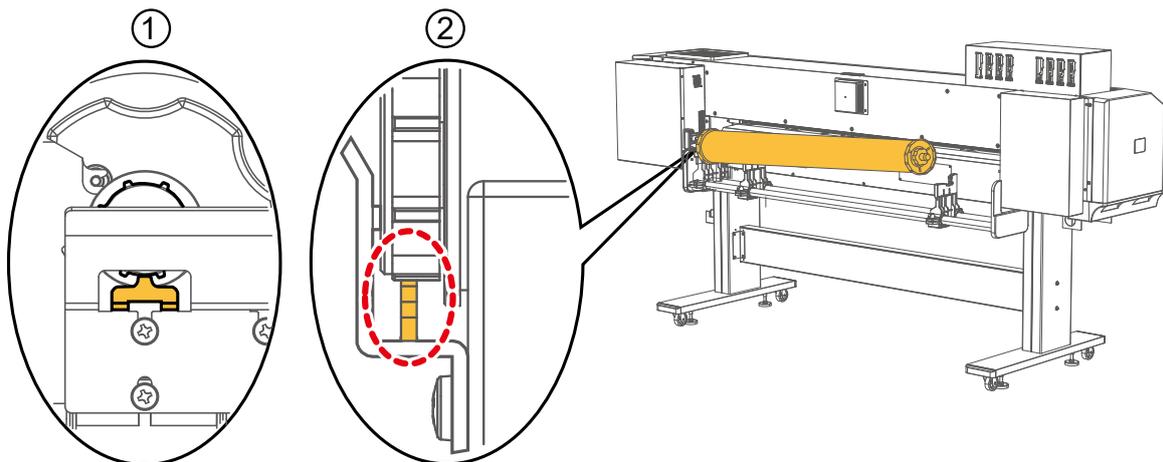
- 2 メディアを左側のロール紙受けに取り付けます。取り付けはゆっくりと丁寧に行ってください。

- ・フランジ先を、下図のようにロール軸ガイドとロール紙受けの間にセットします。



トルクを設定した場合は、続けて下記を確認します。

- ・①：真横から見て、ロール軸ガイドの突起が、フランジ先の突起と突起の間にはまっていることを確認します。
- ・②：背面から見て、ロール軸ガイドの突起が、フランジ先にセットされていることを確認します。



Important!

- ・メディアの取り付け時につよい衝撃を与えると、部品が破損する恐れがあります。
- ・ロール紙受け(左)を動かす場合は、左端から450mm以上右に動かさないでください。メディアの検出ができなくなります。

設置前の確認

開梱

組み立て

ケーブルの接続

セットアップ

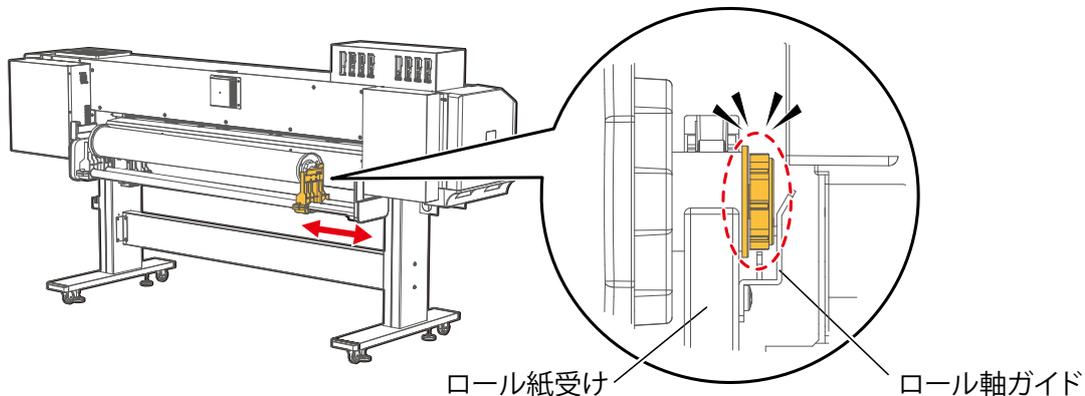
テスト印刷

MSMの
インストール

スリープモード

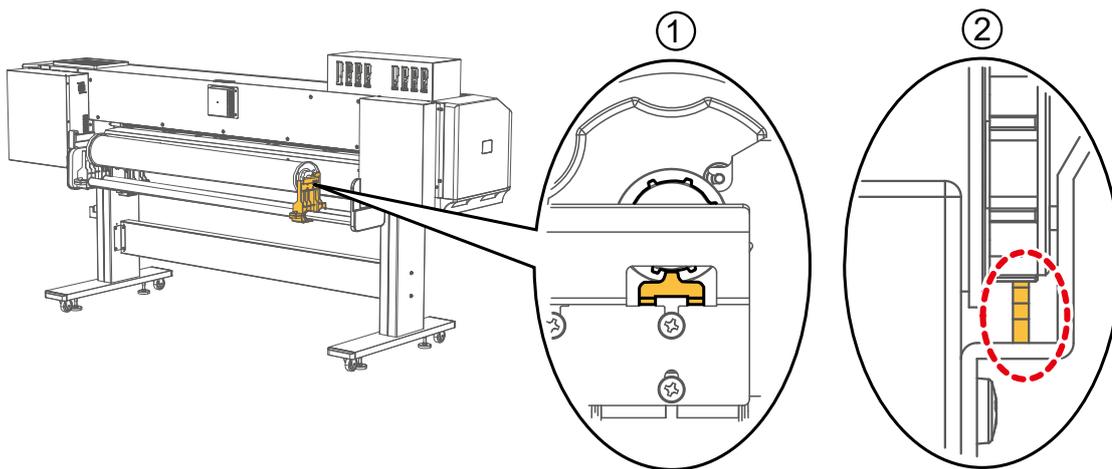
3 メディアを右側のロール紙受けに取り付けます。取り付けはゆっくりと丁寧に行ってください。

- 右側のロール紙受けを、メディアに合わせて移動させます。
- フランジ先を、下図のようにロール軸ガイドとロール紙受けの間にセットします。

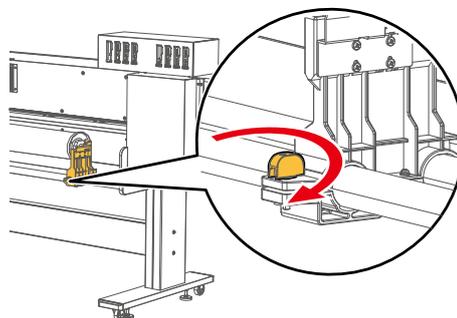


トルクを設定した場合は、続けて下記を確認します。

- ①：真横から見て、ロール軸ガイドの突起が、フランジ先の突起と突起の間にはまっていることを確認します。
- ②：背面から見て、ロール軸ガイドの突起が、フランジ先にセットされていることを確認します。

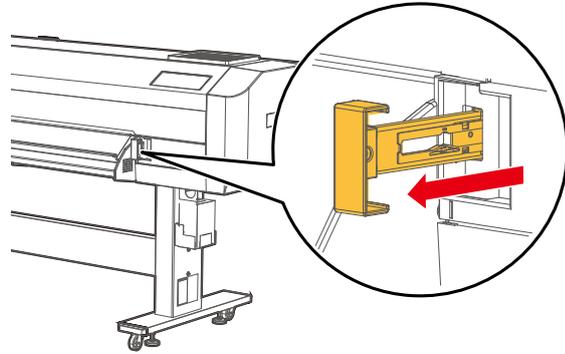


4 ロール紙受け(右)のノブボルトを時計回りに回転させて、締めます。



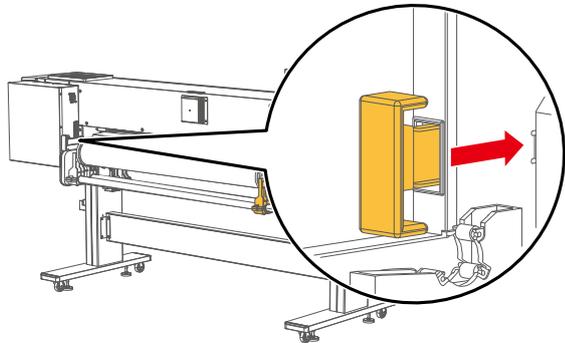
4. プリンターにメディアをセットする

- 1 プリンターの電源がオンになっていることを確認します。
- 2 メディアセットレバーを一番手前まで引いて、加圧アームを上げます。

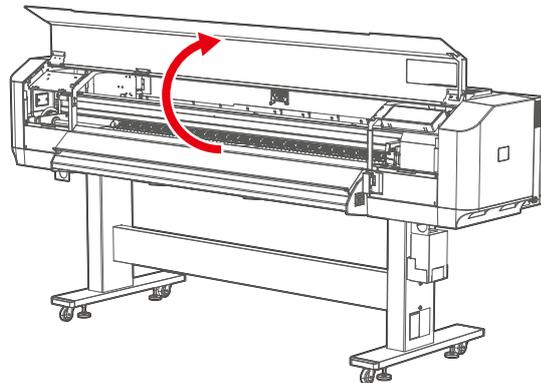


メディアセットレバーは、プリンター背面からも操作可能です。

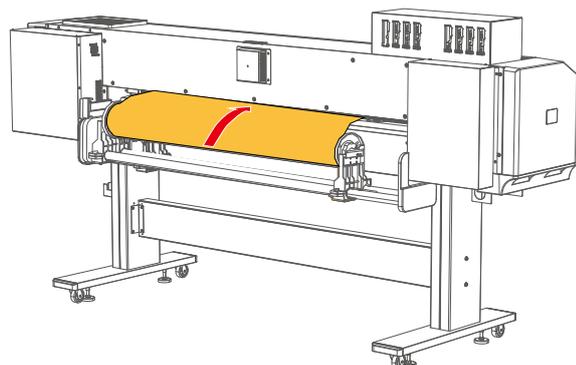
- 奥に押し込むと、加圧アームが上がります。



- 3 フロントカバーを開きます。



- 4 メディアを給紙スロットに差し込みます。



設置前の確認

開梱

組み立て

ケーブルの接続

セットアップ

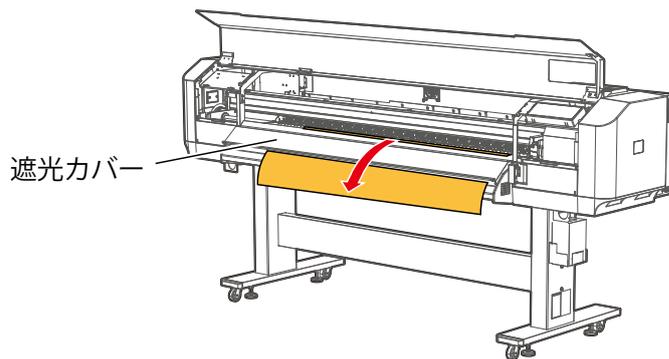
テスト印刷

MSMの
インストール

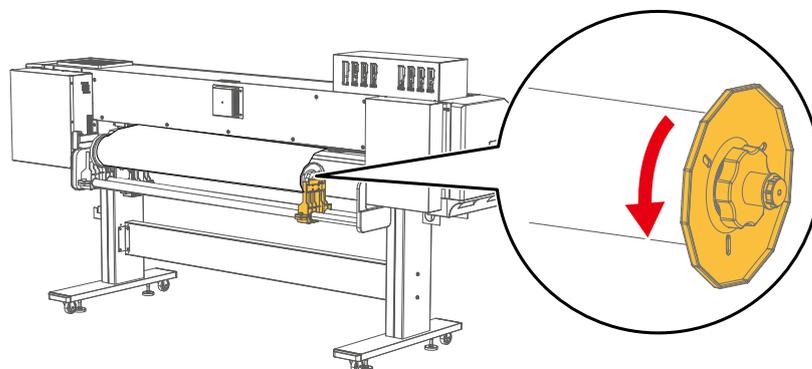
スリープモード

5 正面側の給紙スロットから、メディアを約1m引き出します。

- ・ 遮光カバーとメディアガイドの間にメディアを通して、引き出します。



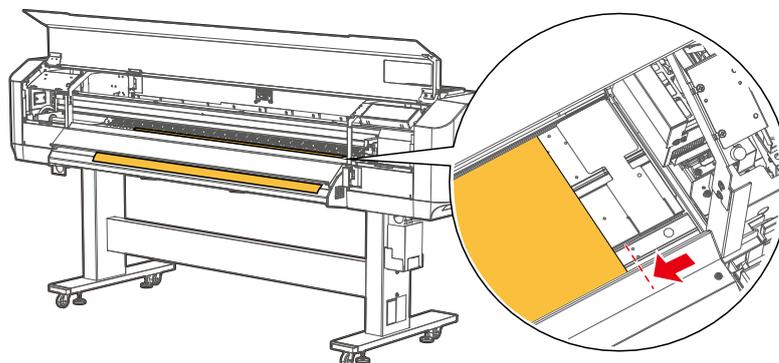
6 メディア先端を押さえながら、ロール紙受けのフランジを回してメディアを少し巻き戻し、メディアのたわみおよび斜行を取り除きます。



Note

メディアを巻き戻している途中で手を放すと、メディアが給紙スロットから抜けて製品背面側に落ちることがあります。

7 メディアの右端がメディアセット目安よりも右側に入っていないことを確認します。メディアセット目安よりも右側にメディアがある場合、印刷品質に影響する恐れがあります。



8 必要に応じて、加圧アームの加圧力を個別に変更します。
 ☞ 取扱説明書「加圧アームの加圧力を個別に弱める / キャンセルする」

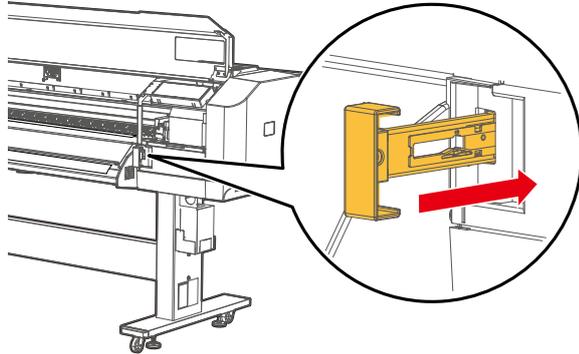
5. メディアをセットしたら・・・

- 1 メディアセットレバーを奥に押し込んで、加圧アームを下げます。

Note

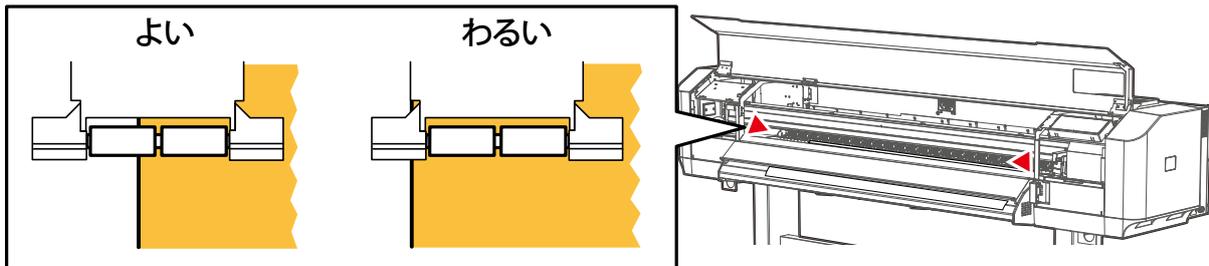
メディアセットレバーは、「通常」と「強」の2段階に加圧力を変更できます。通常のご使用では、手前側のカチッと手ごたえがするところで止め、「通常」の加圧力にします。

📖 取扱説明書「メディア搬送時のメディア全体にかかる加圧力を変更する」



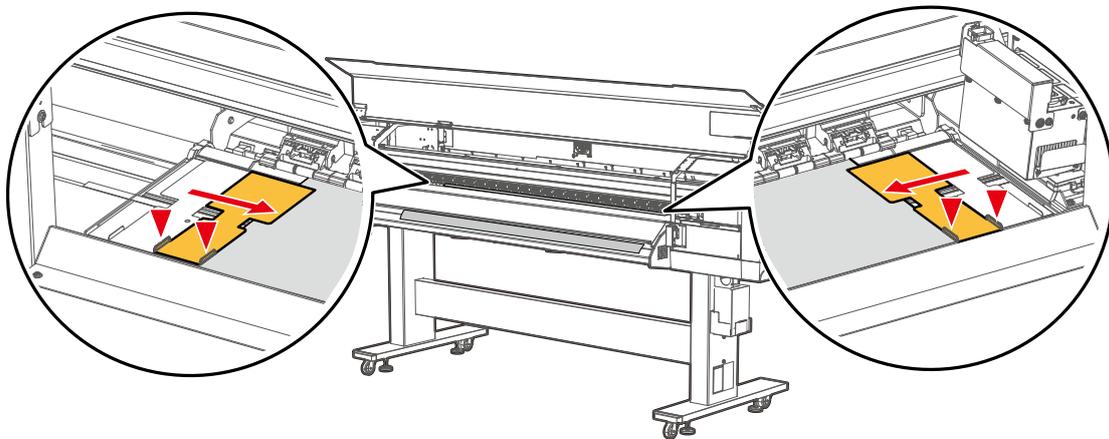
- 2 メディアの両端が加圧アームのローラーに押さえられていることを確認します。

- 下図の「わるい」に当てはまる場合は、メディアセットレバーを一番手前まで引いてから「3. ロール紙受けにメディアを取り付ける」P.47を参照して左右のロール紙受けの位置を変更してください。（メディア両端で確認すること）



- 3 メディアの両端にエッジホルダーをセットします。

- エッジホルダーの手前にあるつまみを持ち上げると、エッジホルダーの中央が浮きます。エッジホルダーの中央を浮かせながら、エッジホルダーをメディアの端に被せるように動かしてください。



設置前の確認

開梱

組み立て

ケーブルの接続

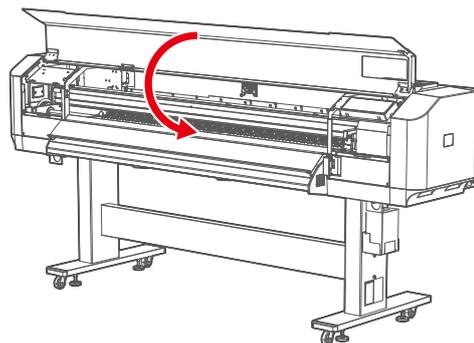
セットアップ

テスト印刷

MSMの
インストール

スリープモード

4 フロントカバーを閉じます。



5 [ユーザ: Type ** OK?]と表示されます。

- 使用するユーザ定義を、 / キーで選択します。
- Enter キーをタップして、メディアイニシャルを実行します。
- メディアセットを終了します。



ノズルチェックとクリーニング

ノズルチェックを印刷し、ノズルの目詰まりがあるときは、クリーニングをしてください。

本製品のノズルチェックには下記の種類があります。

- ・ノズルチェック：「詳細設定：ヘッド選択」、および「詳細設定：ノズル選択」の設定を反映したノズルチェックパターンを印刷します。
- ・ノズルチェック F：すべてのノズルを使用してノズルチェックパターンを印刷します。
- ・ノズルチェック B：一部のノズルチェックパターンの背景に色をつけて印刷します。

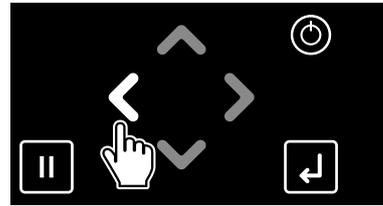
テスト印刷では、すべてのノズルを使用して印刷するノズルチェック F を行います。

ノズルチェック F の手順

- 1 ノズルチェックで使用するメディアをセットします。
「メディアをセットする」 P.43

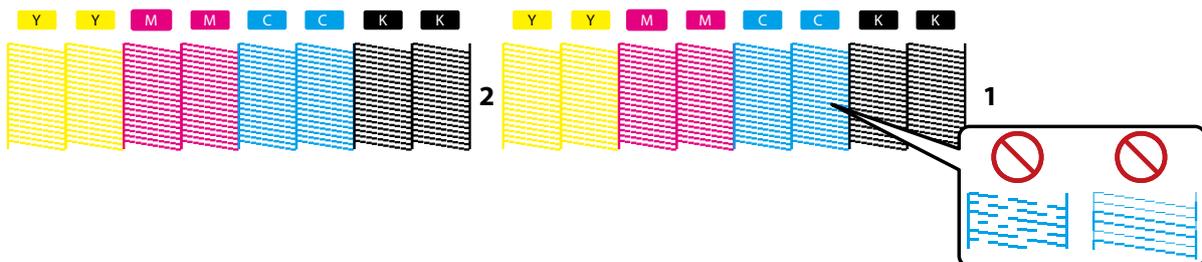
- 2  キーをタップします。

- ・ [インサツヨカイシシマスカ? ノズルチェック] が表示されたら、 /  キーで [ノズルチェック F] を選択します。
- ・  Enter キーをタップするとノズルチェックパターンの印刷を開始します。



- 3 パターンを確認します。

- ・ ノズルの目詰まりがある場合は、「クリーニングの手順」 P.54 に進みます。
- ・ ノズルの目詰まりがない場合は、印刷を開始できます。



Note

- ・ 上記のパターンは4色使用の場合です。
- ・ プリンター情報 (印刷時刻、シリアル番号、ファームウェアバージョン) が印刷されます。

設置前の確認

開梱

組み立て

ケーブルの接続

セットアップ

テスト印刷

MSMの
インストール

スリープモード

Important!

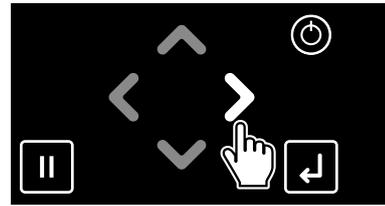
初期充電終了直後にノズルチェックを行うと、次のような現象が発生する場合があります。

- 印刷した線がかすれる
- 部分的に印刷されない

このような場合は、取扱説明書「メニュー3：クリーニング」に従って、微量充電を行ってください。微量充電を行っても印刷結果に変化が無い場合は、製品を1時間以上放置後、再度クリーニングまたは微量充電を行ってください。それでも印刷結果に変化が無い場合は、「お問い合わせ先」P.58 までご連絡ください。

クリーニングの手順

- 1  キーをタップします。



- 2
-  /  キーで実行するクリーニングモード（ピリョウ / ツウジョウ / キョウリョク）を選択します。
 -  Enter キーをタップします。
 - クリーニングを開始します。

クリーニング シマスカ?

ピリョウ

クリーニング シマスカ?

ツウジョウ

クリーニング シマスカ?

キョウリョク

- 3 もう一度、ノズルチェックを行います。

 「ノズルチェック F の手順」 P.53

- ノズルの目詰まりが直らない場合は、通常クリーニングを繰り返してください。
- 「微量」「強力」「微量充電」「初期充電」については、取扱説明書「ヘッドクリーニング」を参照してください。

Note

- コンピューターと接続して印刷を行う前に、IP アドレス、サブネットマスクとゲートウェイの設定を行ってください。
 「初期設定」 P.34
- 強力クリーニングや微量充電を行ってもノズル抜けが直らない場合は、「詳細設定：ノズル選択」でノズル抜けのないノズルを選択することができます。
 取扱説明書「詳細設定：ノズル選択」

Important!

実際のデータで印刷を行う前に、かならずメディア送り補正を行ってください。

 取扱説明書「メディア送り補正」

MUTOH Status Monitor のインストール

コンピューターと接続して印刷を行う前に、かならず MUTOH Status Monitor (MSM) をインストールしてください。MSM のインストール後は、MSM の取扱説明書に従って、初期設定とプリンター登録を行ってください。

📖 MUTOH Status Monitor 取扱説明書「初期設定」

各種ソフトウェアやマニュアルは MUTOH Club からダウンロードすることができます。

- MUTOH Club からダウンロードできるソフトウェアやマニュアルは以下のとおりです。

MUTOH Status Monitor (MSM)	本製品のステータス情報を確認したり、各種設定を変更することができます。テスト作画を行うこともできます。
VerteLith	MUTOH プリンタの性能を最大限に引き出し、ユーザーのワークフローを効率化する純正 RIP ソフトウェアです。(ライセンス購入必要)
マニュアル (プリンターとソフトウェア)	以下のマニュアルが PDF でダウンロードできます。 <ul style="list-style-type: none"> • XPJ-1682UR 取扱説明書「使い方とメンテナンス方法」 • XPJ-1682UR スタートアップガイド (本書) • MUTOH Status Monitor 取扱説明書 • VerteLith ユーザーマニュアル

📢 Important!

MSM は、かならず MUTOH Club からダウンロードされたものをご使用ください。

MSM のインストール方法

- 1 本製品に同梱の「ユーザー登録と各種ダウンロードのお願い」シートを見ながら、ユーザー登録とダウンロードを行います。
- 2 ダウンロードした zip ファイルを解凍し、その中の setup.exe をダブルクリックします。

設置前の確認

開梱

組み立て

ケーブルの接続

セットアップ

テスト印刷

MSM の
インストール

スリープモード

スリープモード

本製品を使わないときは、電源をオフにせず、必ずスリープモードにしてください。スリープモードにしないと本体内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因になります。

また、スリープモードにする前は、プリンターコントロールパネルの指示に従って、必ずデイリーメンテナンスを行ってください。

スリープモード中は以下の動作を行います。

- ・ タイマーセットメニューで設定した時間が経過すると、自動でヘッドクリーニングを行う。
- ・ プリンター内にあるインクの一部を循環する。
- ・ インクの微量充てん。

Important!

スリープモードを7日間以上継続する場合は、7日が経過する前に下記を行ってください。

- ・ インクの残量を確認し、「インクスクナイ」が表示されていたらインクを交換してください。
 - ☞ 取扱説明書「インクの確認と交換」
- ・ インクをかくはんしてください。
 - ☞ 取扱説明書「インクのかくはん」

1 製品の動作状態について以下を確認します。

- ・ フロントカバー、メンテナンスカバーが閉じていること。
- ・ メディアが取り外されていること。
- ・ インクの残量が十分にあること。
- ・ 廃液タンクの空き容量が十分にあること。

Important!

長時間スリープモードを継続する場合は、廃液タンクから廃インクを排出してください。

- ☞ 取扱説明書「廃液タンクを空にする」

2 デイリーメンテナンスに必要なものを準備します。

- ☞ 同梱品「XPJ-1682UR デイリーメンテナンスシート」または、
- ☞ 取扱説明書「1日の作業終了後のメンテナンス」

3 スリープモードメニューにアクセスします。

- ・  Home キーをタップ → [メニュー 1 セッテイ] が表示されます。
- ・  /  キーでメニューをスクロールし、[メニュー 8 スリープモード] を選択します。
- ・  キーを2回タップ → [スリープモード カイシ -> Enter] が表示されます。

4 Enter キーをタップします。

- ・ [デイリーメンテナンス カイシ -> Enter] が表示されます。

- 5  Enter キーをタップします。
- [シバラクオマチクダサイ] が表示されます。
 - キャリッジがメンテナンス位置（製品の左側）へ移動します。

- 6 [デイリーメンテナンス ツギへ -> Enter] が表示されたら、デイリーメンテナンスをはじめます。

Important!

手順の詳細は、以下をご参照ください。

-  同梱品「XPJ-1682UR デイリーメンテナンスシート」または、
-  取扱説明書「1日の作業終了後のメンテナンス」

- 7 デイリーメンテナンスを終了します。
- [UVランプ R カクニン シュウリョウ -> Enter] が表示されていることを確認します。
 - すべてのメンテナンスが終わったら、 Enter キーをタップします。

- 8 [シバラクオマチクダサイ] が表示されます。
- [クリーニング チュウ **%] が表示され、自動で微量クリーニングを行います。

- 9 [スリープモード シュウリョウ -> Enter] が表示されます。
- 本製品がスリープモードを開始します。

- 10 スリープモードを解除するときは、 Enter キーをタップします。

Note

- スリープモード中は、電源ボタン上部の LED が 5 秒おきに点滅します。
- スリープモード中に行うクリーニングの種類とタイマーについては、取扱説明書 [スリープモード2：クリーニングタイマー] をご参照ください。
- 本製品は、スリープモードからの復帰時に、自動でヘッドクリーニングや充電を行うことがあります。動作は経過時間により異なります。この動作はスリープモードの設定によるものではなく、本製品の自動メンテナンス機能によるものです。

設置前の確認

お問い合わせ先

本製品でお困りのことがございましたら、MUTOH カスタマーサポートまでお問い合わせください。

MUTOH カスタマーサポート

TEL : 0120-174911

FAX : 0120-184711

E-mail : gsup@mutoh.co.jp

営業日：月～金曜日（土、日、祝祭日、弊社指定休日を除く）

受付時間：午前 9:00 ～ 12:00、午後 1:00 ～ 5:00

開梱

組み立て

ケーブルの接続

セットアップ

テスト印刷

MSMの
インストール

スリープモード

МУТОН